
第 34 回 国家試験問題

解 説 書

DHS 歯科衛生士部

目次

解説 (午前問題) . . . 1

解説 (午後問題) . . . 22

解説の見方: (1) 問題分類 午前問題 問題1～110
午後問題 問題1～110

(2) 選択肢考察 答えと各選択肢の正誤が明確になるように、○×で示した。

歯科衛生士

第34回国家試験問題

解説書

歯科衛生士 第34回国家試験 問題&解説書 定価 1,870円 (税込)

2025年6月1日 第1刷発行

発行

DHS 歯科衛生士部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目2-25 ヘルエアプラザ3F

TEL. 011 (708) 7588 (代表) 無料通話 0120 (594) 509

本書の内容を無断で複写・複製・転載すると著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。
尚、乱丁、落丁がございましたらお取り替えいたします。

*正誤情報、発行後の法令改正、最新統計、診療ガイドライン関連の情報につきましては、
弊社ウェブサイト (<http://www.rdcnet.jp/>) にてお知らせいたします。

DHS 歯科衛生士部

第34回 歯科衛生士 国家試験問題 解答

Table with columns for question number, answer, subject, and score. It is divided into '午前問題' (Morning Questions) and '午後問題' (Afternoon Questions). The table lists 110 questions with their respective answers and subjects.

午前 第8問 採点対象から除外する。問題としては適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。
第10問 採点対象から除外する。問題としては適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。
第14問 複数の選択肢を正解として採用する。複数の正解があるため。
第33問 採点対象から除外する。問題としては適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。
午後 第13問 採点対象から除外する。問題としては適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。
第37問 全員正解として採点する。選択肢の表現に不備があるため。
第82問 採点対象から除外する。問題としては適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

- *出題基準
1 人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能
2 歯・口腔の構造と機能
3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進
4 歯・口腔の健康と予防に関わる人面と社会の仕組み
5 歯科衛生士概論
6 臨床歯科医学
7 歯科予防処置論
8 歯科保健指導論
9 歯科診療補助論

34-A 午前問題解説

【問題 1】 全身骨格前面の一部の写真(別冊午前 No.1)を別に示す。矢印で示すのはどれか。1つ選べ。



- a 脛骨
b 橈骨
c 腓骨
d 上腕骨

答え b
× a、× c 膝関節から足首までを下腿といい、内側の太い骨が脛骨で、外側の細い骨が腓骨である。
○ b 上肢の肘関節から下を前腕といい、矢印で示す前腕の親指側の骨が橈骨である。小指側の前腕を尺骨という。
× d 上腕骨は肘関節より上の上肢である。

【問題 2】 顔面の発生で人中を形成するのはどれか。1つ選べ。

- a 下顎突起
b 上顎突起
c 外側鼻突起
d 内側鼻突起

答え d
× a 下顎突起から下唇、下顎骨、下顎歯が形成される。
× b 上顎突起から上唇、頬部、上顎骨、上顎犬歯・臼歯、二次口蓋が形成される。
× c 外側鼻突起から鼻翼が形成される。
○ d 内側鼻突起から人中、上顎切歯、一次口蓋が形成される。

【問題 3】 槌状根がみられる歯(PDI歯式)はどれか。1つ選べ。

- a 35
b 47
c 55
d 74

答え b
× a 35は下顎左側第二小臼歯である。
○ b 47は下顎右側第二大臼歯である。槌状根は下顎第二大臼歯にみられる。
× c 55は上顎右側第二乳臼歯である。
× d 74は下顎左側第一乳臼歯である。

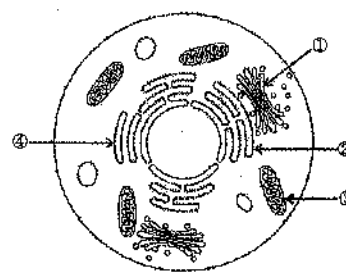
【問題 4】 口蓋骨の写真(別冊午前 No.2)を別に示す。矢印で示す孔を通過する神経が分布するのはどれか。1つ選べ。



- a 頬小体
b 軟口蓋
c 口蓋扁桃
d 切歯乳頭

答え d
× a、× b、× c、○ d 矢印で示す孔は切歯孔で、切歯管の開口部である。切歯孔を通過する鼻口蓋神経が分布するのは切歯乳頭である。

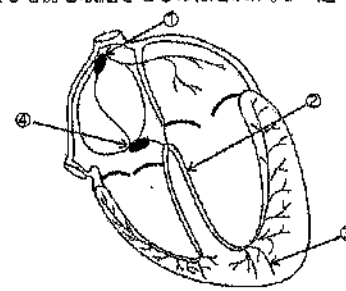
【問題 5】 細胞小器官を模式図に示す。ATPを産生するのはどれか。1つ選べ。



- a ①
b ②
c ③
d ④

答え c
× a ①はゴルジ装置である。タンパク質の加工、包装、分類、分布および修飾に関与している。
× b ②はリボソームである。粗面小胞体の膜面に付着しており、タンパク質を合成する場である。
○ c ③はミトコンドリアである。細胞呼吸の場であり、生体のエネルギー源であるATP(アデノシン三リン酸)を産生する。
× d ④は滑面小胞体である。リボソームが付着していない小胞体である。

【問題 6】 心臓の興奮伝導系を模式図に示す。一定のリズムで興奮し心房を収縮させるのはどれか。1つ選べ。



- a ①
b ②
c ③
d ④

答え a
○ a ①は洞房結節である。心房を一定のリズムで興奮させ、収縮を促す役割を果たしているのは、洞房結節である。右心房上部に位置するペースメーカーとして機能し、自律神経系により調整されながら電気的な刺激を発生させる。
× b ②は房室束(ヒス束)である。
× c ③はプルキンエ線維である。
× d ④は房室結節である。

【問題 7】 大脳皮質の機能局在を模式図に示す。ブローカ野（運動性言語中枢）はどれか。1つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④

- 答え d
- × a ①は視覚野である。
 - × b ②はウェルニッケ野（感覚性言語中枢）である。
 - × c ③は味覚野である。
 - d ④はブローカ野（運動性言語中枢）である。

【問題 8】 破骨細胞を模式図に示す。矢印で示す部位から分泌されるのはどれか。1つ選べ。

a H^+
b Ca^{2+}
c HCO_3^-
d HPO_4^{2-}

- 答え a (厚労省発表：採点対象から除外する。)
- 理由：問題としては適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。
- a、× b、× c、× d 破骨細胞は多核の巨細胞であり、骨に面した側には矢印で示す波状線がみられる。この波状線からは無機質を溶かす H^+ イオンや有機基質を分解するカタレプシンKなどのタンパク質分解酵素が分泌され、骨吸収を促進させる。その結果、破骨細胞が付着した骨面にはハウシッポ窩という凹みができる。

【問題 9】 軟組織にできる嚢胞はどれか。1つ選べ。

a 歯根嚢胞
b 粘液嚢胞
c 鼻口蓋管嚢胞
d 歯原性角化嚢胞

- 答え b
- × a 歯根嚢胞は顎骨内に生じる嚢胞で、慢性根尖性歯周炎に继发して発症する。炎症性嚢胞の1つで、マラッセの遺残上皮に由来する重層扁平上皮で裏装された歯原性嚢胞である。
 - b 粘液嚢胞は軟組織内に生じる嚢胞で、唾液腺排泄管の損傷や閉鎖による唾液の流出障害によって生じる非歯原性嚢胞である。下口唇に好発する。
 - × c 鼻口蓋管嚢胞は顎骨内に生じる嚢胞で、胎生期の鼻口蓋管の残存上皮に由来する非歯原性嚢胞である。上顎中切歯後方の口蓋部にみられる。
 - × d 歯原性角化嚢胞は顎骨内に生じる嚢胞で、歯原性上皮に由来し、錯角化重層扁平上皮に裏装された嚢胞である。下顎大白歯部から下顎支部に好発する。

【問題 10】 肉芽組織を模式図に示す。矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

a 形質細胞
b 毛細血管
c リンパ球
d 線維性結合組織

- 答え b (厚労省発表：採点対象から除外する。)
- 理由：問題としては適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。
- × a、○ b、× c、× d 肉芽組織とは、紡錘形の線維芽細胞と矢印で示す毛細血管が主体をなす幼若な結合組織である。創傷治癒や異物処理に重要な役割を果たす。肉芽組織内には、炎症性細胞（好中球、マクロファージ、リンパ球、形質細胞など）が浸潤している。

【問題 11】 免疫に関わる細胞を模式図に示す。この細胞の機能はどれか。1つ選べ。

a 抗原提示
b 抗体産生
c 補体産生
d 好中球遊走

- 答え a
- a、× b、× c、× d 図は樹状細胞を示しており、この細胞の機能は抗原提示である。抗原提示細胞には、樹状細胞、B細胞、マクロファージがある。

【問題 12】 リポ多糖 (LPS) で正しいのはどれか。1つ選べ。

a 熱に弱い。
b グラム陽性菌に存在する。
c ホルマリンで不活化される。
d Toll 様レセプターに結合する。

- 答え d
- × a リポ多糖 (LPS) は内毒素とよばれ、多糖体とリポDで構成されており、熱に強い。
 - × b リポ多糖 (LPS) はグラム陰性菌の外膜に存在する。
 - × c ホルマリンで不活化されるのは内毒素ではなく、外毒素である。
 - d リポ多糖 (LPS) は Toll 様レセプターに結合する。

【問題 13】 *Porphyromonas gingivalis* で正しいのはどれか。1つ選べ。

a 微好気性菌
b 通性嫌気性菌
c 偏性嫌気性菌
d 偏性好気性菌

- 答え c
- × a 微好気性菌とは低酸素分圧下で増殖する菌で、ヘリコバクターピロリ菌、カンピロバクター属などが該当する。
 - × b 通性嫌気性菌とは酸素があってもなくても増殖できる菌で、レンサ球菌、黄色ブドウ球菌、大腸菌などが該当する。
 - c 偏性嫌気性菌とは酸素があると死滅する菌で、*Porphyromonas gingivalis*、*Prevotella intermedia*、*Fusobacterium nucleatum*、*Tannerella forsythia* などの多くの歯周病原細菌が該当する。
 - × d 偏性好気性菌とは増殖に必ず酸素を必要とする菌で、結核菌や緑膿菌などが該当する。

【問題 14】 リドカイン塩酸塩にアドレナリンを添加した。この薬物併用で示される作用はどれか。1つ選べ。

a 拮抗作用
b 刺激作用
c 相乗作用
d 補充作用

- 答え a、c (厚労省発表：複数の選択肢を正解として採用する。)
- 理由：複数の正解があるため。
- a 拮抗作用とは薬物の併用により作用が減弱する場合である。不整脈治療薬であるリドカイン塩酸塩は血管拡張作用があり、アドレナリンは血管収縮作用があるため、併用は拮抗作用を示すともいえる。
 - × b 刺激作用とは薬物がすべての細胞の代謝、成長、形態に変化を与える場合をいう。
 - c 局所麻酔薬のリドカイン塩酸塩に血管収縮薬のアドレナリンを添加した場合は、アドレナリンが血管を収縮させることでリドカイン塩酸塩が局所に停滞しやすくなり、麻酔の効果が強化および延長される。このため、リドカイン塩酸塩とアドレナリンの併用は相乗作用の例とされる。
 - × d 補充作用とは生体に不足している物質を補う作用のことである。ホルモン剤やビタミン剤などが該当する。

【問題 15】 核酸合成を阻害する抗菌薬はどれか。1つ選べ。

a ペニシリン系
b マクロライド系
c ニューキノロン系
d テトラサイクリン系

- 答え c
- × a ペニシリン系抗菌薬は細胞壁合成を阻害する。
 - × b マクロライド系抗菌薬はタンパク質合成を阻害する。
 - c ニューキノロン系抗菌薬は核酸合成を阻害する。
 - × d テトラサイクリン系抗菌薬はタンパク質合成を阻害する。

【問題 16】 グミゼリーからのグルコース溶出量で評価するのはどれか。1つ選べ。

a 構音機能
b 咀嚼能力
c う蝕活動性
d 最大咬合力

- 答え b
- × a 構音機能はグルコース溶出量で評価するものではない。
 - b グミゼリーを咀嚼後に溶出したグルコース量を測定することで咀嚼能力を評価する。
 - × c う蝕活動性はう蝕活動性試験で評価する。
 - × d 最大咬合力は咬合圧検査で評価する。

【問題 17】 名義尺度はどれか。1つ選べ。

a 歯数
b 身長
c 西暦年
d 都道府県

- 答え d
- × a 歯数は比率尺度である。
 - × b 身長は比率尺度である。
 - × c 西暦年は間隔尺度である。
 - d 都道府県は名義尺度である。

【問題 18】 手用歯ブラシのパッケージの記載を図に示す。この記載の根拠となるのはどれか。1つ選べ。

a 食品衛生法
b 食品表示法
c 家庭用品品質表示法
d 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

柄の材質	飽和ポリエステル樹脂
毛の材質	ナイロン
毛の硬さ	ふつう
耐熱温度	60度

〇〇株式会社
東京都大田区〇〇町××番地
TEL: 03-△△△△-□□□□

- 答え c
- × a、× b、○ c、× d 歯ブラシの柄の材質、毛の材質、毛の硬さ、耐熱温度、表示した者の名前、名称もしくは商標および住所また承認番号については、「家庭用品品質表示法」で表示することが義務付けられている。

【問題 19】 プラークを検体とするう蝕活動性試験はどれか。1つ選べ。

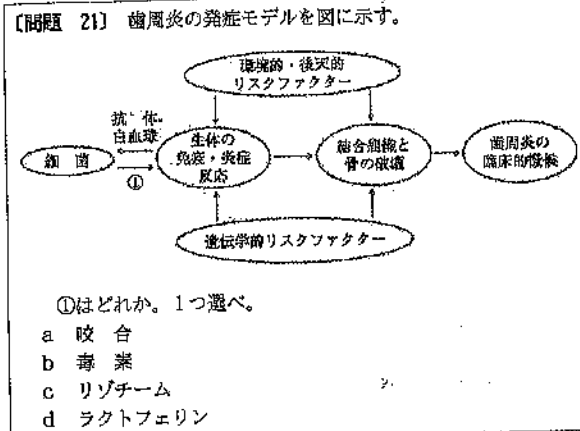
a Swab テスト
b Dreizen テスト
c レザズリンディスクテスト
d グルコースクリアランステスト

- 答え a
- a Swab テストはプラークを検体とするう蝕活動性試験である。
 - × b Dreizen テストは唾液を検体とするう蝕活動性試験である。
 - × c レザズリンディスクテストは唾液を検体とするう蝕活動性試験である。
 - × d グルコースクリアランステストは唾液を検体とするう蝕活動性試験である。

【問題 20】 歯冠の発生中に作用することで永久歯のう蝕感受性を低下させるフッ化物応用はどれか。1つ選べ。

a フッ化物洗口
b フッ化物歯面塗布
c フッ化物配合歯磨剤
d 水道水フッロリデーション

答え d
× a、× b、× c フッ化物洗口やフッ化物歯面塗布、フッ化物配合歯磨剤はフッ化物の局所応用であるため、歯冠の発生中には作用しない。
○ d 水道水フッロリデーションはフッ化物の全身応用であるため、歯冠の発生中に作用することで永久歯のう蝕感受性を低下させる。

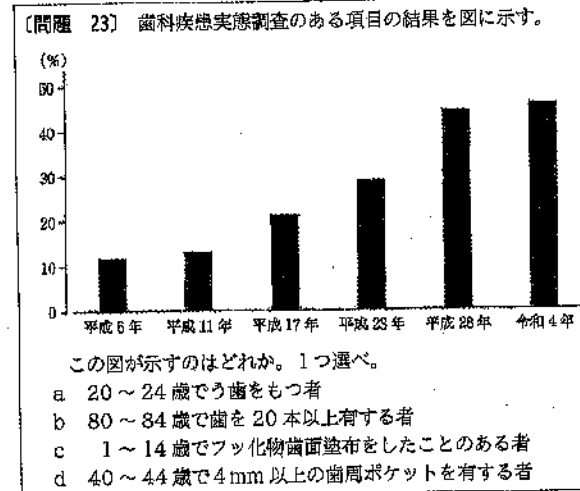


答え b
× a、○ b、× c、× d ①は生体の免疫・炎症反応を引き起こす細菌の毒素や組織内侵入などを示す。したがって、毒素が正しい。咬合やリゾチーム、ラクトフェリンは宿主要因である。

【問題 22】 顎関節症の要因となるのはどれか。2つ選べ。

a 飲酒
b 低栄養
c ストレス
d 過大な開口

答え c d
× a、× b 飲酒や低栄養は顎関節症の要因とならない。
○ c、○ d ストレスや過大な開口は顎関節症の要因となる。

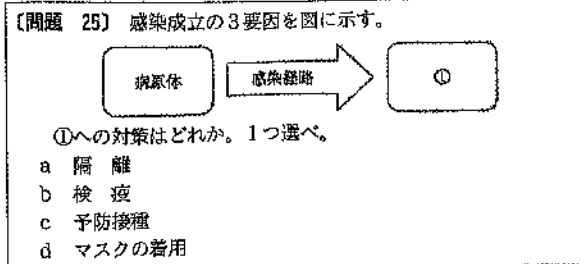


答え b
× a、○ b、× c、× d 図を見ると、平成5年より増加しており、令和4年で50%程度となっている。歯科疾患実態調査の「80～84歳で歯を20本以上有する者」の図である。

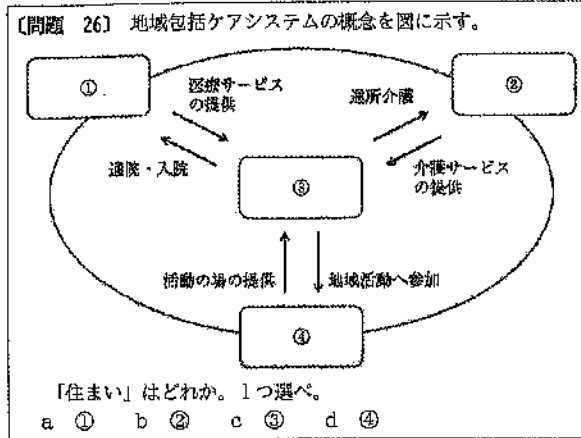
【問題 24】 暑さ指数(湿球黒球温度)の算出のために気温とともに用いられるのはどれか。2つ選べ。

a 気圧
b 気湿
c 気流
d 輻射熱

答え b d
× a、○ b、× c、○ d 暑さ指数(湿球黒球温度)の算出には、気温、気湿、輻射熱を用いる。不快指数の算出には、気温、気湿を用いる。感覚温度の算出には、気温、気湿、気流を用いる。



答え c
感染成立の3要因は、感染源(病原体)、感染経路、感受性である。したがって、①は感受性である。
× a 隔離は感染源(病原体)対策である。
× b 検疫は感染源(病原体)対策である。
○ c 予防接種は感受性対策である。
× d マスクの着用は感染経路対策である。



答え c
地域包括ケアシステムとは、「医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービス」の5つの要素を切れ目なく提供することを目的とした仕組みのことである。
× a ①は「医療」である。
× b ②は「介護」である。
○ c ③は「住まい」である。
× d ④は「生活支援・介護予防」である。

【問題 27】 □に入る語句の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

フレイルとは □① に伴う □② 機能や予備能力の低下によって脆弱性が出現した状態である。

① ②

a 加齢 心身
b 疾病 免疫
c 障害 身体
d 老化 認知

答え a
○ a、× b、× c、× d フレイル(虚弱)とは、日本老年医学会が2014年に提案したもので、加齢に伴う心身機能や予備能力の低下によって脆弱性が出現した状態である。

【問題 28】 WHOを介して行政上の調整、技術・情報の交換などを行い、自国の健康水準の向上を図るのはどれか。1つ選べ。

a 2国間協力
b 2国間交流
c 多国間協力
d 多国間交流

答え d
× a、× b、× c、○ d 行政上の調整、技術・情報の交換などを行い、自国の健康水準の向上を図ることを目的とするのは「国際交流」である。WHOを介しているため、2国間ではなく、多国間交流である。一方、人的・物的・技術的資源を提供して当該国(発展途上国など)の向上を図ることを目的とするのは「国際協力」である。

【問題 29】 歯科訪問診療を行った歯科医師の指示に基づき、居宅療養管理指導として歯科衛生士が行えるのはどれか。1つ選べ。

a 服薬状況の確認
b 栄養ケア計画の作成
c 感染根管治療の補助
d 義歯の清掃方法の説明

答え d
× a 服薬状況の確認は歯科医師や歯科衛生士が行うが、居宅療養管理指導ではない。
× b 栄養ケア計画の作成は歯科衛生士が行うものではない。
× c 感染根管治療の補助は診療補助に該当するが、居宅療養管理指導ではない。
○ d 義歯の清掃方法の説明は居宅療養管理指導として歯科衛生士が行うことが可能である。

【問題 30】 母子保健法に基づく3歳児歯科健康診査の結果の一部を図に示す。

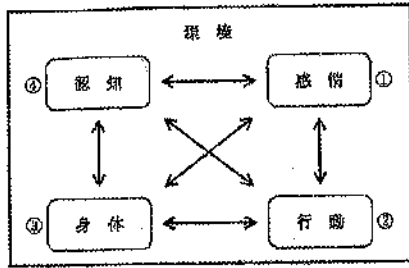
E	D	C	B	A	A	B	C	D	E
C	C	/	/	/	/	/	/	C	C
E	D	C	B	A	A	B	C	D	E
C	C	/	/	/	/	/	/	C	C

う蝕罹患型はどれか。1つ選べ。

a A型 b B型 c C1型 d C2型

答え a
○ a A型は上顎前歯部または白歯部にう蝕がある場合である。3歳児歯科健康診査の結果では、白歯部にのみう蝕があるので、う蝕罹患型はA型である。
× b B型は上顎前歯部および白歯部にう蝕がある場合である。
× c C1型は下顎前歯部にのみう蝕がある場合である。
× d C2型は下顎前歯部を含む他の部位にう蝕がある場合である。

【問題 31】 行動変容における認知行動療法の概念図を示す。



この療法で問題解決法の対象はどれか。1つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

【問題 32】 「ニュルンベルク綱領」の基本的原則に含まれるのはどれか。1つ選べ。

- a 医師は患者の健康を第一の関心事にする。
- b 患者は医療を継続して受ける権利を有する。
- c 被験者の自発的同意は絶対的本質的なものである。
- d 医療者は患者の最善の利益のために行動すべきである。

【問題 33】 歯科診療所の医療安全管理対策として行う医療機器の安全使用のための研修で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 開設者が実施する。
- b 研修実施内容を記録する。
- c 従事者全員を対象とする。
- d 使用経験のない医療機器の導入時に実施する。

【問題 34】 歯科口腔保健の推進に関する法律第15条に定められている口腔保健支援センターが、国及び地方公共団体の施策実施のために支援を行うのはどれか。1つ選べ。

- a 高齢者に対する総合相談支援
- b 地域住民に対する健康相談・保健指導
- c 地域保健に関する思想の普及及び向上
- d 歯科医療等業務に従事する者等への情報提供

【問題 35】 誘発痛を指標に評価する検査法はどれか。1つ選べ。

- a 透照診
- b 歯髄電気診
- c 歯周ポケット測定検査
- d レーザー蛍光強度測定

【問題 36】 甲状腺機能亢進症患者にみられるのはどれか。2つ選べ。

- a 喘鳴
- b 多尿
- c 動悸
- d 眼球突出

答え b

× a、○ b、× c、× d 「行動変容」における認知行動療法での問題解決法の対象は「行動」なので②が正しい。

答え c

- × a 「医師は患者の健康を第一の関心事にする。」と述べているのは「ジュネーブ宣言」である。
- × b 「患者は医療を継続して受ける権利を有する。」と述べているのは「リスボン宣言」である。
- c 「被験者の自発的同意は絶対的本質的なものである。」と述べているのは「ニュルンベルク綱領」である。
- × d 「医療者は患者の最善の利益のために行動すべきである。」と述べているのは「ヒポクラテスの誓い」である。

答え bc (厚労省発表：採点対象から除外する。)

- 理由：問題としては適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。
- × a 歯科診療所の管理者の指示の下に医療機器安全管理責任者が実施する。
 - b 開催又は受講日時、出席者、研修項目のほか、研修の対象とした医療機器の名称、研修を実施した場所（当該病院等以外の場所での研修の場合）等を記録する。
 - c 医療機器を使用する従事者全員を対象とする。
 - × d 使用経験のない医療機器の導入時だけでなく、定期的を実施する。

答え d

- × a 高齢者に対する総合相談支援は、地域包括支援センターの業務の1つである。
- × b 地域住民に対する健康相談・保健指導は、市町村保健センターの業務の1つである。
- × c 地域保健に関する思想の普及及び向上は、保健所の業務の1つである。
- d 歯科医療等業務に従事する者等への情報提供は、口腔保健支援センターの業務の1つである。

答え b

- × a 透照診は誘発痛を指標に評価する検査法ではない。歯に光を透過させて観察する。
- b 歯髄電気診は歯髄に電気刺激を加えた際の誘発痛を指標に評価する。
- × c 歯周ポケット測定検査は誘発痛を指標に評価する検査法ではない。プローブを用いて測定する。
- × d レーザー蛍光強度測定は誘発痛を指標に評価する検査法ではない。レーザー光を照射し、その反射蛍光の強度を測定する。

答え cd

- × a、× b、○ c、○ d 甲状腺機能が亢進したバセドウ病患者では、動悸や眼球突出がみられる。喘鳴や多尿が甲状腺機能亢進症患者で特徴的にみられるとはいえない。

【問題 37】 摂食嚥下機能検査中の画像（別冊午前 No.3）を別に示す。

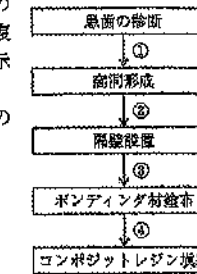


- 矢印で示すのはどれか。1つ選べ。
- a 舌骨
 - b 喉頭蓋
 - c 甲状軟骨
 - d 披裂軟骨

答え a

○ a、× b、× c、× d 矢印は下顎骨の直下にある不透過像を示しており、舌骨である。喉頭蓋や甲状軟骨、披裂軟骨ではない。

【問題 38】 下顎右側第一小臼歯遠心面のう蝕に対して、コンポジットレジン修復を行うことになった。治療過程を図に示す。



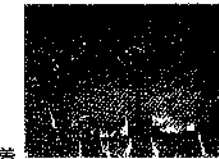
プレウエッジテクニックのウエッジの挿入時期はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え a

○ a、× b、× c、× d プレウエッジテクニックとは、窩洞形成前に歯槽部にウエッジを挿入するものであるため、ウエッジの挿入時期は①である。

【問題 39】 43歳の男性。上顎前歯の変色を主訴として来院した。小学生の頃から矯模樣が気になっていたという。初診時の口腔内写真（別冊午前 No.4）を別に示す。



考えられる変色の原因はどれか。1つ選べ。

- a 歯髄の失活
- b フッ化物の過剰摂取
- c コーヒー飲料品の色素成分の付着
- d テトラサイクリン系抗生薬の長期服用

答え d

- × a 歯髄の失活は局所的な歯の変色の原因であり、左右対称に矯模樣になるとは考えにくい。
- × b フッ化物の過剰摂取では斑状歯が生じる。
- × c コーヒー飲料品の色素成分の付着では歯の着色が生じる。
- d 写真から左右対称に矯模樣が生じており、テトラサイクリン系抗生薬の長期服用が考えられる。

【問題 40】 54歳の女性。下顎左側第二小臼歯の冷水痛を主訴として来院した。咬合面および遠心面にう蝕を認めたため修復処置が行われることになった。製作した修復物の写真（別冊午前 No.5）と装着時の操作内容（別冊午前 No.6）を別に示す。



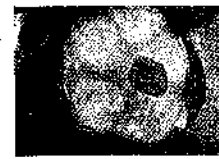
- ① 装着
- ② 咬合調整
- ③ 隣接面の調整
- ④ シランカップリング剤の塗布

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え a

○ a、× b、× c、× d 写真はコンポジットレジンインレーと考えられる。装着時の操作手順として、③→④→①→②となる。したがって、3番目に行うのは①である。

【問題 41】 23歳の男性。下顎左側第一大臼歯の冷水痛を主訴として来院した。自発痛はないという。暫時的間接覆髄が行われることになった。水酸化カルシウム製剤貼付前の口腔内写真（別冊午前 No.7）を別に示す。



この治療法を選択した目的はどれか。2つ選べ。

- a 感染歯質の除去
- b 歯髄組織の保護
- c 軟化象牙質の再石灰化
- d デンティンブリッジ形成促進

答え bc

- × a 感染歯質の除去を目的として暫時的間接覆髄を選択したとは考えにくい。
- b、○ c 暫時的間接覆髄は、う蝕を全て除去すると露髄する危険性がある深在性う蝕の症例に対して、歯髄組織の保護と軟化象牙質の再石灰化を目的として行われる。
- × d デンティンブリッジ形成促進は直接覆髄時の水酸化カルシウム製剤の作用である。

【問題 42】 アペキシゲネーシスで期待できるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯根の成長
- b 歯髄の再生
- c 根尖病変の治療
- d セメント質様硬組織の添加

答え a

- a アペキシゲネーシスは根未完成歯に対して歯根部歯髄を保存することで、歯根の成長が期待できる。
- ×b 歯髄の再生はアペキシゲネーシスで期待できない。
- ×c 根尖病変の治療は感染根管治療で期待できる。
- ×d セメント質様硬組織の添加はアペキシフィケーションで期待できる。

【問題 43】 32歳の男性。歯ぐきからの出血と腫脹が続くようになったことを主訴として来院した。数年前から歯の動揺が気になっていたという。22歳から毎日10本の喫煙をしているが、全身的な疾患はない。歯周基本治療時の口腔内写真(別冊午前No. 8A、B、C)と初診時のエックス線画像(別冊午前No. 8D)を別に示す。



この疾患の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 栄養障害が原因である。
- b 家族内集積が認められる。
- c 歯槽骨の破壊が急速である。
- d 辺縁歯肉の壊死と潰瘍を認める。

答え bc

- ×a 栄養障害が原因の歯周病として栄養障害関連歯肉炎が挙げられる。本症例は骨吸収が認められるため、歯肉炎ではない。
- b、○c 数年前から歯の動揺が気になっており、上顎前歯部には歯の欠損がみられる。臼歯部の歯槽骨吸収も高度であることから侵襲性歯周炎と判断できる。慢性歯周炎では、ブランクコントロールが良好にも関わらず歯槽骨の破壊が急速に進行し、家族内集積が認められるのが特徴である。
- ×d 辺縁歯肉の壊死と潰瘍を認めるのは壊死性歯周炎である。

【問題 44】 55歳の女性。下顎左側小白歯部のブラッシングがしにくいことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前No. 9)を別に示す。



ブラッシングを困難にしている歯肉歯槽粘膜の異常はどれか。2つ選べ。

- a 潰瘍
- b 歯肉増殖
- c 口腔前庭の狭小
- d 小帯の高位付着

答え cd

- ×a、×b 写真から潰瘍や歯肉増殖はみられない。
- c、○d 写真を見ると、小帯の高位付着および口腔前庭の狭小がみられ、角化歯肉幅が少ないことがわかる。ブラッシング時に疼痛などが生じやすく、ブラッシングを困難にする要因と考えられる。

【問題 45】 67歳の女性。上顎左側小白歯の動揺を主訴として来院した。上顎左側第一小白歯の近心に深い歯周ポケットを認めた。歯周基本治療後、同部位にエナメルマトリックスタンパク質を用いた歯周外科処置を行うこととなった。初診時のエックス線画像(別冊午前No. 10A)と不良肉芽組織除去後および縫合直前の口腔内写真(別冊午前No. 10B、C)を別に示す。



この手術で再生するのはどれか。2つ選べ。

- a 歯槽骨
- b 象牙質
- c エナメル質
- d セメント質

答え ad

- a、×b、×c、○d エナメルマトリックスタンパク質は歯周組織再生療法に用いられ、歯槽骨やセメント質の再生が期待される。歯周組織再生療法で象牙質やエナメル質は再生しない。

【問題 46】 適合試験材を用いた部分床義歯内面の状態の写真(別冊午前No. 11)を別に示す。義歯調整を行うことになった。



使用する器材はどれか。2つ選べ。

- a ロビンソンブラシ
- b シリコーンポイント
- c カーボランダムポイント
- d タングステンカーバイトパー

答え bc

- ×a ロビンソンブラシは歯面研磨に用いる。
- b、○c 適合試験材を用いて義歯内面と顎堤粘膜と強く接触している部分を診査する。強く接触している部分をカーボランダムポイントで削って、シリコーンポイントで研磨する。
- ×d タングステンカーバイトパーは、主としてエアタービンハンドピースに装着し高速回転切削に用いる。

【問題 47】 下顎前歯部の支台歯形成後、CAD/CAMシステムでクラウンを製作することになった。印象採得に用いた器具の写真(別冊午前No. 12A)と印象採得時の口腔内写真(別冊午前No. 12B)を別に示す。



従来の精密印象採得法と比較したこの方法の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 止血操作が不要
- b 医療廃棄物の削減
- c 個人トレーが必要
- d デジタルデータの保存が可能

答え bd

写真Aは口腔内スキャナーで、写真Bは口腔内を光学印象しているところである。

- ×a 歯肉縁からの出血があると支台歯形成のマージン部分が不鮮明になるため、止血操作は必要である。
- b 光学印象では印象材と石膏を用いないので、医療廃棄物の削減につながる。
- ×c 光学印象では印象材を用いないので、個人トレーは不要である。
- d 口腔内スキャナーで撮影したデータは、デジタルデータでの保存が可能である。

【問題 48】 48歳の女性。上顎前歯部の審美不良を主訴として来院した。診察の結果、オールセラミッククラウンを製作することになった。クラウン製作時の一過程の写真(別冊午前No. 13)を別に示す。



目的はどれか。1つ選べ。

- a 咬合採得
- b 発音検査
- c 適合性の確認
- d 歯冠色調の確認

答え c

- ×a、×d 咬合採得や歯冠色調の確認は写真に示すジルコニアフレームの試戴前に行う。
- ×b 発音検査はプロビジョナルレストレーションを装着している段階で行う。
- c 写真ではオールセラミッククラウンのジルコニアフレームを試戴して適合性を確認している。

【問題 49】 欠乏により貧血の原因となるのはどれか。2つ選べ。

- a 葉酸
- b ビタミンA
- c ビタミンC
- d ビタミンB12

答え ad

- a 葉酸欠乏症では巨赤芽球性貧血、口内炎、舌炎などがみられる。
- ×b ビタミンA欠乏症では夜盲症、皮膚角化症、エナメル質形成不全などがみられる。
- ×c ビタミンC欠乏症では壊血病がみられる。
- d ビタミンB12欠乏では巨赤芽球性貧血がみられる。

【問題 50】 59歳の女性。口渇感と舌の違和感を主訴として来院した。6か月前から自覚していたが様子をみていたところ、1か月前から水がないと食事がしにくくなったという。初診時の口腔内写真(別冊午前No. 14A)と検査に用いた器材の写真(別冊午前No. 14B)を別に示す。



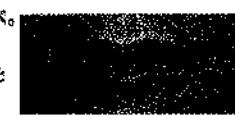
検査はどれか。1つ選べ。

- a 味覚検査
- b ガムテスト
- c サクゾンテスト
- d シルマーテスト

答え c

- ×a 口渇感と舌の違和感を主訴として来院し、1か月前から水がないと食事がしにくくなった点から唾液分泌量の減少が疑われる。したがって、味覚検査は行わない。
- ×b ガムテストは唾液分泌量の検査法の1つであるが、10分間ガムを噛み、分泌された唾液を容器に吐き出し計測する方法(10mL以上の場合:正常)なので、写真Bのように重さを計量することはない。
- c サクゾンテストは唾液分泌量の検査法の1つである。乾燥したガーゼを2分間噛んで、分泌された唾液を含んだガーゼの重さを写真Bのように計量して、重量増加が2g以下の場合に唾液分泌量が少ないと判断する。
- ×d シルマーテストは涙の分泌量を測定するための検査である。

【問題 51】 32歳の男性。口唇の異常を主訴として来院した。最近仕事で忙しく強い疲労感を自覚しているという。2日前から下唇の違和感を自覚していたが様子をみていたところ、昨日から疼痛を自覚するようになったという。口唇ヘルペスを診断された。初診時の顔鏡の一部の写真(別冊午前No. 15)を別に示す。



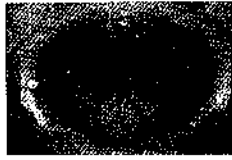
本疾患の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 強い神経痛様疼痛を示す。
- b 小水疱は破れてびらん・痂皮を形成する。
- c 初期には灼熱感、掻痒感を伴うことが多い。
- d 2型の単純ヘルペスウイルスが主な原因である。

答え bc

- ×a 強い神経痛様疼痛を示すのは、帯状疱疹の特徴である。
- b、○c 口唇ヘルペスは単純疱疹ウイルスに感染した場合にみられる。小水疱は破れてびらん・痂皮を形成するのは単純疱疹の特徴である。初期には灼熱感、掻痒感を伴うことが多い。
- ×d 口唇ヘルペスは1型の単純ヘルペスウイルスが主な原因である。

【問題 52】 54歳の女性。舌の異常を主訴として来院した。2週前に着色を自覚したが、疼痛がないため様子を見ていたという。現在、気管支喘息、市中肺炎、高血圧症および糖尿病に対して薬物療法を受けているという。初診時の口腔内写真（別冊午前 No. 16）を別に示す。

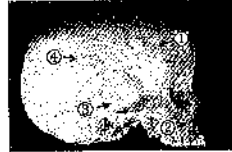


- 原因と考えられるのはどれか。2つ選べ。
- a 降圧薬
 - b 抗菌薬
 - c 血糖降下薬
 - d 副腎皮質ステロイド薬

答え b d

× a、○ b、× c、○ d 舌の写真から黒毛舌が疑われる。黒毛舌は抗菌薬や副腎皮質ステロイド薬の長期使用による菌交代現象が原因と考えられる。

【問題 53】 頭蓋骨の写真（別冊午前 No. 17）を別に示す。Scammon（スキヤモン）の臓器発育曲線で一般型の成長を示すのはどれか。1つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え b

× a、× c、× d ①は前頭骨、③は側頭骨、④は頭頂骨であり、脳頭蓋を構成する骨である。脳頭蓋は Scammon（スキヤモン）の臓器発育曲線で神経型の成長を示す。
○ b ②は上顎骨である。顎骨は Scammon（スキヤモン）の臓器発育曲線で一般型の成長を示す。

【問題 54】 上下顎側第一大臼歯の石膏模型の咬合面観の写真（別冊午前 No. 18A、B）を別に示す。Angle（アングル）Ⅰ級で、上顎側第一大臼歯の矢印で示す部位が接触するのはどれか。1つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え d

× a、× b、× c、○ d 写真を見ると、上顎側第一大臼歯の矢印で示す部位は頬側咬頭である。Angle（アングル）Ⅰ級で、上顎側第一大臼歯の頬側咬頭が接触するのは、下顎側第一大臼歯の頬面溝であるため、④が正しい。

【問題 55】 10歳の女児。上顎前歯の歯ならびが気になることを主訴として来院した。顔面写真（別冊午前 No. 19A）、口腔内写真（別冊午前 No. 19B）および治療に用いた装置の写真（別冊午前 No. 19C）を別に示す。

- 期待できる効果はどれか。1つ選べ。
- a 下顎前歯の唇側移動
 - b 下顎骨の前方成長促進
 - c 上顎大臼歯の近心移動
 - d 上顎骨の前方成長抑制



答え d

× a、× b、× c、○ d 写真Cの装置はヘッドギアである。口腔内写真から上顎前突であり、ヘッドギアによる上顎骨の前方成長抑制を期待する。下顎前歯の唇側移動や下顎骨の前方成長促進、上顎大臼歯の近心移動はヘッドギアでは期待できない。

【問題 56】 6歳の男児。母親とともに定期歯科健康診査のため来院した。口腔内診査の結果、永久歯への生え代わりはなく、下顎前歯部の歯間部に空隙が認められた。口腔内写真（別冊午前 No. 20）を別に示す。



- この空隙はどれか。1つ選べ。
- a 顎間空隙
 - b 鼓形空隙
 - c 発育空隙
 - d 壺長空隙

答え c

× a 顎間空隙は無歯期の上下顎の前歯部歯槽堤間にみられる空隙である。
× b 鼓形空隙は歯間部にみられる鼓形の空隙である。健康な状態では、下部鼓形空隙は歯間乳頭が存在する。
○ c、× d 壺長空隙は、上顎乳側切歯と上顎乳犬歯の間、および、下顎乳犬歯と下顎第一乳臼歯の間にみられる歯間空隙である。また、壺長空隙以外の乳歯列の歯間空隙を発育空隙という。写真を見ると、下顎乳中切歯と乳側切歯の間に空隙がみられるため発育空隙である。

【問題 57】 5歳の女児。う蝕が原因で下顎左側第一乳臼歯を抜去した後、装置を装着した。装着時の口腔内写真（別冊午前 No. 21）を別に示す。



- この装置の目的はどれか。1つ選べ。
- a 舌圧の排除
 - b 咬合力の回復
 - c 対合歯の挺出防止
 - d 近遠心的空隙の保持

答え d

× a 舌圧の排除はタンククリップなどの目的である。
× b クラウンループのループ部で咬合力の回復はできない。
× c クラウンループのループ部で対合歯の挺出は防止できない。
○ d 写真の装置はクラウンループである。クラウンに付与したループ部により近遠心的空隙を保持することを目的としており、第二乳臼歯の近心移動を防止し、第一小臼歯の萌出スペースを確保する。

【問題 58】 情動の発達で生後6か月頃から現れるのはどれか。2つ選べ。

- a 愛情
- b 怒り
- c 恐れ
- d 得意

答え b c

× a、○ b、○ c、× d 情動の発達において、怒りや恐れは生後6か月頃から現れる。愛情や得意は生後1歳頃頃から現れる。

【問題 59】 86歳の女性。特別養護老人ホームに入居している。エプロンが気になって食事に集中しない。食事動作を中断して動かない様子がミールラウンドで観察された。患者の写真（別冊午前 No. 22）を別に示す。

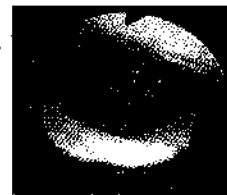


- 疑われるのはどれか。1つ選べ。
- a 脳血管性認知症
 - b 前頭側頭型認知症
 - c Lewy（レビー）小体型認知症
 - d Alzheimer（アルツハイマー）型認知症

答え c

× a 脳血管性認知症では手足の麻痺などがみられやすい。
× b 前頭側頭型認知症では言葉が出ないなどの症状がみられやすい。
○ c エプロンが気になっており、また、食事動作を中断して動かないことから、認知症とパーキンソン症状が主症状である Lewy（レビー）小体型認知症が疑われる。
× d Alzheimer（アルツハイマー）型認知症では初期から記憶障害がみられやすい。

【問題 60】 75歳の女性。胃食道逆流症の既往があり、現在は在宅だが誤嚥性肺炎で入院を繰り返している。口腔内の衛生状態は良好であり、普段の食事ではむせはないという。嚥下内視鏡検査時の食物および飲料嚥下後の喉頭周囲の写真（別冊午前 No. 23）を別に示す。



- 誤嚥性肺炎の原因として疑われるのはどれか。2つ選べ。
- a 食物
 - b 唾液
 - c 飲料水
 - d 逆流した胃内容物

答え b d

× a、○ b、× c 普段の食事ではむせはなく、また、嚥下内視鏡検査時の食物および飲料嚥下後の喉頭周囲の写真をもみても明らかな食物の残留はみられないため、誤嚥性肺炎の原因として唾液が疑われる。食物や飲料水が原因とは疑いにくい。
○ d 胃食道逆流症の既往があるため、逆流した胃内容物による誤嚥性肺炎が疑われる。

【問題 61】 脳性麻痺患者における麻痺のある部位を「+」で表す模式図を示す。



- 麻痺の部位による分類はどれか。1つ選べ。
- a 片麻痺
 - b 単麻痺
 - c 対麻痺
 - d 両麻痺

答え c

× a 片麻痺は左右どちらか片側のみに麻痺がある場合をいう。また、上肢の麻痺が下肢より強い。
× b 単麻痺は四肢のいずれか一肢のみに麻痺がある場合をいう。
○ c 対麻痺は両下肢のみに麻痺があり、上肢には麻痺がない場合をいう。図を見ると、対麻痺である。
× d 両麻痺は四肢すべてに麻痺がある場合をいう。また、下肢の麻痺が上肢より強い。

【問題 62】 10歳の男児。自閉スペクトラム症と診断されている。術者によるブラッシングができるように指導を行った。行動療法中の写真（別冊午前 No. 24A、B、C、D）を別に示す。



- 行ったのはどれか。1つ選べ。
- a 系統的脱感作法
 - b Tell-Show-Do 法
 - c フラッディング法
 - d トークンエコノミー法

答え b

× a 系統的脱感作法は、不安や恐怖に対して少しずつ刺激の弱いものから慣れさせていく方法である。
○ b Tell-Show-Do 法は、言葉で説明しただけでは理解するのが困難な患者に対し、これから行うことを Tell（患者に具体的に説明）し、Show（実際に見せて視覚的に理解させる）、Do（実際に行う）する行動療法である。写真を見ると、ブラッシングについて説明し、使用する器具を見せ、実際に行っているため、Tell-Show-Do 法と考えられる。
× c フラッディング法は、大量の恐怖刺激に直面させることで恐怖感を解消させる方法である。
× d トークンエコノミー法は、あらかじめ約束した行動ができたときにトークン（代用貨幣）を与え、トークンが一定数たまったら特定の物と交換できる方法である。

【問題 63】 疾病予防の概念で歯周病の第二次予防に該当するのはどれか。1つ選べ。
 a PMTC
 b 禁煙指導
 c 歯周疾患検診
 d 口腔機能回復治療

答え c

- × a PMTCは歯周病の第一次予防に該当する。
- × b 禁煙指導は歯周病の第一次予防に該当する。
- c 歯周疾患検診は歯周病の早期発見に有用であり、歯周病の第二次予防に該当する。
- × d 口腔機能回復治療は歯周病の第三次予防に該当する。

【問題 64】 う蝕の特徴はどれか。2つ選べ。
 a 根面う蝕は環状に進行する。
 b 急性う蝕は穿下性に進行する。
 c 慢性う蝕は穿通性に進行する。
 d 平滑面エナメル質う蝕はエナメル象牙境を頂点とした円錐形を呈する。

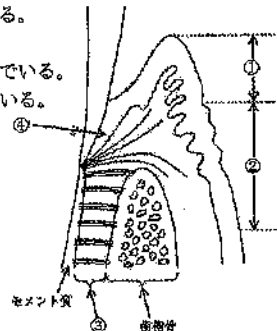
答え ad

- a 根面う蝕は環状に進行する。
- × b、× c 急性う蝕は穿通性に進行し、慢性う蝕は穿下性に進行する。
- d 平滑面エナメル質う蝕はエナメル象牙境を頂点とした円錐形を呈する。なお、小窩裂溝エナメル質う蝕はエナメル象牙境を底面とした円錐形を呈する。

【問題 65】 歯周組織の模式図を示す。
 ①～④の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。
 a ①は角化上皮で覆われている。
 b ②は可動性の粘膜である。
 c ③はコラーゲン繊維に富んでいる。
 d ④は歯と結合組織付着している。

答え ac

- a ①は遊離歯肉であり、角化上皮で覆われている。
- × b ②は付着歯肉であり、非可動性の粘膜である。
- c ③は歯根膜であり、コラーゲン繊維に富んでいる。
- × d ④は付着（接合）上皮であり、歯と上皮性付着している。



【問題 66】 患者への口腔清掃方法の指導で改善を期待できるのはどれか。2つ選べ。
 a 口臭
 b 咬耗症
 c 歯肉の炎症
 d メラニン色素沈着

答え ac

- a 口臭はプラークや舌苔などが原因となるため、患者への口腔清掃方法の指導で改善を期待できる。
- × b 咬耗症は咬合が関与して生じる。患者への口腔清掃方法の指導では改善を期待できない。
- c 歯肉の炎症はプラークが原因となる。患者への口腔清掃方法の指導で改善を期待できる。
- × d メラニン色素沈着は喫煙などが原因となる。患者への口腔清掃方法の指導では改善を期待できない。

【問題 67】 下顎左側臼歯部のエックス線画像（別冊午前 No. 25）を別に示す。
 画像から認められるのはどれか。2つ選べ。
 a 根尖病巣
 b 歯石の付着
 c エナメル真珠
 d 歯槽硬線の消失

答え bd

- × a、× c 画像をみても根尖病巣やエナメル真珠は認められない。
- b 大臼歯部に歯石の付着が認められる。
- d 第一大臼歯の歯槽硬線の消失が認められる。



【問題 68】 口腔内写真（別冊午前 No. 26）を別に示す。
 前歯部を対象とした PMA Index の評価部位はどれか。2つ選べ。
 a ①
 b ②
 c ③
 d ④

答え ac

- a ①は1、2間の乳頭歯肉（P）であり、前歯部を対象とした PMA Index の評価部位である。
- × b ②は歯槽粘膜であり、PMA Index では評価しない。
- c ③は2]の辺縁歯肉（M）であり、前歯部を対象とした PMA Index の評価部位である。
- × d ④は乳頭歯肉（P）であるが、3] 通心であるため、前歯部を対象とした PMA Index の評価部位ではない。



【問題 69】 歯周組織検査中の写真（別冊午前 No. 27）を別に示す。
 矢印で示す方向にのみ 0.5mm の動揺が確認された。
 Miller の分類で正しいのはどれか。1つ選べ。
 a 0度
 b 1度
 c 2度
 d 3度

答え b

- × a 0度は生理的動揺（0.2mm 以内）である。
- b 写真から矢印の方向が頬舌方向と判断できる。頬舌方向にのみ 0.5mm の動揺が確認されたため、Miller の分類 1 度である。
- × c、× d 2度は近遠心方向、3度は垂直方向に動揺が認められる。



【問題 70】 超音波スケーラーのチップと水流の写真（別冊午前 No. 28）を別に示す。
 使用法で正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 術前に口腔外で水流の確認を行う。
 b チップの先端をポケット底部まで挿入する。
 c チップは 30 度で歯に当てる。
 d 50g の側方圧をかける。

答え ab

- a 超音波スケーラーを使用する際は、術前に口腔外で水流の確認を行う。
- b 写真の水流から、超音波スケーラーによるポケット内洗浄を行うと判断できる。チップの先端をポケット底部まで挿入するとよい。
- × c、× d スケーリング操作ではチップを約 15 度で歯に当て、40～80g 程度の側方圧をかける。ポケット内洗浄ではチップ先端 2mm 程度の側面を使用し、歯根面をできるだけなでるようにゆっくり動かす。



【問題 71】 グレーシータイプキュレットを刃部先端からみた模式図を示す。
 下顎右側第一大臼歯舌側遠心の縁下歯石を除去するのに適しているのはどれか。1つ選べ。
 a ①
 b ②
 c ③
 d ④

答え d

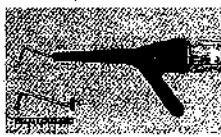
- × a ①は #11 である。
- × b ②は #12 である。
- × c ③は #14 である。
- d ④は #13 であり、下顎右側第一大臼歯舌側遠心の縁下歯石を除去するのに適している。



【問題 72】 38歳の女性。歯面の着色を主訴として来院した。妊娠高血圧の治療を行っているという。着色除去に用いる機器の写真（別冊午前 No. 29）を別に示す。
 対応で正しいのはどれか。2つ選べ。
 a ノズルの先端を歯面から 20～50mm 離す。
 b 咬合面では咬合平面に対して 90 度で使用する。
 c 一箇所に集中せず小さな円を描くように動かす。
 d 炭酸水素ナトリウムを主成分とするパウダーを使用する。

答え bc

- × a ノズルの先端を歯面から 2～5mm 離す。
- b 咬合面では咬合平面に対して 90 度で使用する。
- c 噴射を一箇所に集中せず、小さな円を描くように動かすとよい。
- × d 妊娠高血圧の治療を行っているため、炭酸水素ナトリウムを主成分とするパウダーは使用しない。グリシンなどを使用するとよい。



【問題 73】 75歳の男性。慢性歯周炎に対する歯周基本治療終了後、3か月間隔で歯周病のメンテナンスと初期の根面う蝕の管理としてフッ化物歯面塗布を行っている。来院時、歯周ポケットの検査を行った後に用いる器材の写真（別冊午前 No. 30）を別に示す。
 3番目に用いるのはどれか。1つ選べ。
 a ① b ② c ③ d ④

答え d

- × a、× b、× c、○ d メンテナンスで来院時の口腔内の詳しい状態が分からないが、一般的には歯周ポケットの検査を行った後、歯垢染色液（②）でプラークを染め出して口腔衛生状態の評価や口腔衛生指導を行い、超音波スケーラー（①）で歯石除去後、研磨用カップと歯面研磨剤（④）で歯面研磨を行って、最後に根面う蝕の管理としてフッ化物歯面塗布（③）を行う。したがって、3番目に用いるのは④である。



【問題 74】 5歳の男児。歯科医師からフッ化物歯面塗布を指示され、リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液（第II法）を 2mL 準備した。溶液に含まれるフッ素量はどれか。1つ選べ。
 a 0.018mg
 b 0.04mg
 c 4mg
 d 18mg

答え d

- × a、× b、× c、○ d リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液（第II法）のフッ化物イオン濃度は 9,000ppm であるため、溶液 1mL 中に 9mg のフッ素量が含まれていることとなる。したがって、準備した 2mL の溶液には $9 \times 2 = 18$ mg のフッ素量が含まれていることとなる。

【問題 75】 歯科医師からう蝕予防処置の指示を受けた。使用する器材の写真(別冊午前 No. 31)を別に示す。



- 正しいのはどれか。2つ選べ。
a 簡易防湿は不要である。
b 上下顎同時に実施できる。
c 実施直後に軽くうがいをさせる。
d やや仰向けの姿勢で軽くかませる。

答え ab

- a 写真から、トレー法によるフッ化物歯面塗布を行うと判断できる。トレー法では簡易防湿は不要である。
○b フッ化物フォームを2つのトレーに注入し、上下顎同時に実施できる。
×c フッ化物歯面塗布実施後30分間は唾液を吐かせるにとどめ、うがいをさせないようにする。
×d フッ化物歯面塗布では、フッ化物の誤飲防止のため、座位の姿勢で、ややうつむき加減にさせるとよい。

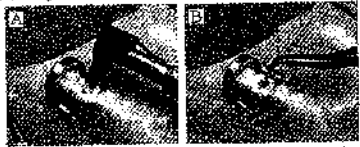
【問題 76】 フッ化物配合歯磨剤の応用で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a うがいが可能な年齢から使用する。
b 年齢に応じたフッ化物濃度を選択する。
c 永久歯萌出が完了するまでの使用を勧める。
d ブラッシング後に歯磨剤が口の中に残らないよううがいをする。

答え b

- ×a フッ化物配合歯磨剤は歯の萌出直後(6か月)から応用するため、うがいができない年齢から使用する。
○b フッ化物配合歯磨剤を応用する際には、年齢に応じたフッ化物濃度を選択する。
×c フッ化物配合歯磨剤は高齢者を含む成人のう蝕予防にも有効であるため、永久歯萌出が完了しても使用を勧める。
×d 従来は歯磨剤が口の中に残らないまで何回もうがいをしていたが、フッ化物配合歯磨剤ではブラッシング後の洗口は1回のみとし、歯磨剤が口の中に残らないまでうがいをするのではない。

【問題 77】 レジン系小窩裂溝充填材を用いて模型上で予防処置を行っている過程の一部の写真(別冊午前 No. 32A, B)を別に示す。この処置の目的はどれか。2つ選べ。



- a 歯面の清掃
b 感染歯質の除去
c 歯質の再石灰化
d 接着効果の向上

答え ad

- a レジン系小窩裂溝充填材で予防処置を行う際に歯面にブラークが存在すると充填材の接着力が低下する。したがって、写真Aのようにポリッシングブラシを用いて歯面の清掃を行う。
×b 感染歯質の除去はう蝕治療で行う。
×c 歯質の再石灰化はフッ化物応用の目的である。
○d レジン系小窩裂溝充填材で予防処置を行うには、写真Bのようにリン酸エッチングを行って接着効果の向上を図る。

【問題 78】 28歳の女性。口臭を主訴として来院した。起床時に口臭を自覚することがあり、家族からも口の臭いを指摘されたという。検査結果を表に示す。

Table with 2 columns: 検査項目 (Examination Item) and 結果 (Result). Rows include 舌苔付着 (Tongue coating), BOP率 (BOP rate), 4mm以上の歯周ポケットを有する歯数 (Number of teeth with 4mm or more periodontal pockets), O'LearyのPCR (O'Leary's PCR), and 全身疾患 (Systemic disease).

医療面接で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 食事の嗜好を尋ねる。
b 消化器内科の受診を勧める。
c 自己管理に問題があることを指摘する。
d 口臭を指摘された際の気持ちに寄り添う。

答え ad

- a 舌苔の付着はなし、BOP率は3%、4mm以上の歯周ポケットはなし、PCRは15%のため、病的口臭とは考えられない。生理的口臭と考えられるため、食事の嗜好(ニンニク、アルコールなど)を尋ねる。
×b 全身疾患についても特記事項はないため、消化器内科の受診を勧める必要はない。
×c 病的口臭とは考えられないため、自己管理に問題はない。
○d 家族から口臭を指摘されているため、患者の気持ちに寄り添うといった配慮が必要である。

【問題 79】 45歳の男性。定期歯科健康診査のため半年ぶりに来院した。最近、ストレスを感じているという。医療面接時の会話の一部を図に示す。

Dialogue between a patient and a dentist. The patient mentions stress and drinking more. The dentist asks about alcohol consumption and the patient says it's increased.

ストレスの行動的反応はどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

答え c

- ×a ①は「気になっています」という点から心理的反応である。
×b ②は「心配で」という点から心理的反応である。
○c ③は「飲む量が増えた」という点から行動的反応である。
×d ④は「気がする」という点から心理的反応である。

【問題 80】 禁煙支援に対する行動変容プロセスで自己の再評価はどれか。1つ選べ。

- a 喫煙のリスクについて知る。
b 職場からの補助を受けて禁煙外来を受診する。
c 禁煙をすることによる歯周組織への良い影響を知る。
d 禁煙をしないことによる家族への影響に注意を向ける。

答え c

- ×a 喫煙のリスクについて知ってもらうのは、関心期に行う禁煙支援である。
×b 職場からの補助を受けて禁煙外来を受診させるのは、準備期や実行期に行う禁煙支援である。
○c 禁煙をすることによる歯周組織への良い影響を知ってもらうのは、無関心期に行う禁煙支援であり、自己の再評価となる。
×d 禁煙をしないことによる家族への影響、つまり、受動喫煙による影響について注意を向けさせるのは関心期に行う禁煙支援である。

【問題 81】 中学1年生を対象とした歯科保健教育を実施することになった。教材として使用した15歳女子の口腔内写真(別冊午前 No. 33)を別に示す。



この写真を用いて指導できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉痛に関するリスク因子
b デンタルフロスの使用の必要性
c 不良補綴装置の歯肉に対する為害性
d ホルモンの変化と歯肉炎との関連性

答え bd

- ×a 中学1年生を対象とした歯科保健教育で歯肉痛に関するリスク因子を指導することはない。
○b 歯垢染め出し液による染色後の口腔内写真で隣接面にブラークが認められるため、デンタルフロスの使用の必要性について指導できる。
×c 口腔内写真には補綴装置がみられないので、不良補綴装置の歯肉に対する為害性を指導することはない。
○d 中学1年生の女子を対象としているので、ホルモンの変化と歯肉炎との関連性について指導できる。

【問題 82】 80歳の女性。2年前に転倒により骨折して以来、外出時は車いすを使用している。町内会の役員を継続することを望み、週に3回介護予防通所リハビリテーションに通っている。

国際生活機能分類(ICF)で下線部に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 活動
b 参加
c 健康状態
d 心身機能・身体構造

答え b

- ×a 「週に3回介護予防通所リハビリテーションに通っている」は、国際生活機能分類(ICF)の「活動」に該当する。
○b、×c、×d 「町内会の役員を継続すること」は、国際生活機能分類(ICF)の「参加」に該当する。

【問題 83】 78歳の男性。薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)の経過観察で来院した。ブラッシング時に矢印で示す部位の疼痛を訴えている。



口腔内写真(別冊午前 No. 34)を別に示す。

適切な口腔衛生指導はどれか。2つ選べ。

- a 患部にフッ化物ジェルを塗布する。
b アルコールを含まない洗口剤で含嗽する。
c 患部の食渣をスポンジブラシで除去する。
d 疼痛がある間は歯ブラシの使用を中止する。

答え bc

- ×a 矢印で示す患部は腐骨であり、フッ化物ジェルを塗布することはない。
○b 刺激の少ないアルコールを含まない洗口剤で含嗽するのは適切である。
○c ブラッシング時に患部を触れると疼痛を訴えているため、患部の食渣をスポンジブラシで除去するのは適切である。
×d 疼痛がある間は歯ブラシの使用を中止するのではなく、患部以外の残存菌についてはブラッシングを行ってもらう。

【問題 84】 84歳の男性。脳梗塞で右側の半身麻痺がある。患者の口腔清掃の状況を図に示す。

- ・磨って歯ブラシを使って頬側を磨くことができる。
- ・義歯をはめることができるが、外すことができない。
- ・水を口に含んで吐き出すことができる。

BDR指標で正しいのはどれか。1つ選べ。

- B D R
- a a1 b a
- b a2 b b
- c b1 b b
- d b2 a b

【問題 85】 中学3年生を対象とした「総合的な学習の時間」で、食生活に関する健康教育を行うことになった。

生徒の主体的な参加を促すための効果的な方法はどれか。2つ選べ。

- a 加糖飲料に含まれる砂糖量の展示
- b 中学生の食生活に関する探究的学習
- c 生徒の1週間の食生活記録の振り返り
- d 生活習慣病予防のための啓発動画の視聴

【問題 86】 再生不良性貧血患者の口腔内写真(別冊午前 No. 35)を別に示す。

口腔衛生管理で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a SRPの実施
- b 保湿剤の塗布
- c 出血部位の確認
- d 毛先の硬い歯ブラシの使用



【問題 87】 80歳の男性。5年前に脳梗塞を発症し、現在在宅療養中で、意識障害があるという。口臭が強いことを主訴として家族から歯科訪問診療の依頼を受けた。歯科医師から口腔衛生管理を指示された。口腔清掃時の写真(別冊午前 No. 36)を別に示す。

この患者に行うのはどれか。2つ選べ。

- a 頭部の後屈
- b 歯の動揺の確認
- c ラポールの形成
- d リクライニング位の設定



【問題 88】 80歳の女性。舌癌に対する舌部分切除術後2週が経過した。現在在宅療養中である。体重に変化はないという。経口摂取を進めるために評価を行った結果を表に示す。

評価項目	結果
RSST	3回/30秒
MWST	4(嚥下あり・呼吸良好・むせなし)
DSS*	5(先行期から口腔期まで問題あり)

*DSS: 臨床摂食障害重症度分類

患者に対する適切な指導はどれか。2つ選べ。

- a ゆっくりと食べましょう。
- b 一口の量を少なめにしましょう。
- c 栄養補助食品を中心に食べましょう。
- d 口を大きく開かないようにしましょう。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

	検査結果	基準値
TCI (Tongue Coating Index)	33%	50%以上
口腔水分計	27.5	27未満
残存歯数 (残根と動揺度3の歯を除く)	23本	20本未満
香口管運動		
パ	3回/秒	6回/秒未満
タ	7回/秒	6回/秒未満
カ	7回/秒	6回/秒未満
香圧	33 kPa	30 kPa未満
グルコセンサー	120 mg/dL	100 mg/dL未満
EAT-10	1点	3点以上

適切な指導内容はどれか。2つ選べ。

- a 口唇のストレッチ b 唾液腺マッサージ
- c 吹き戻し笛の訓練 d とろみ調整食品の活用

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 90】 87歳の女性。腰椎の骨折のため在宅療養中である。家族から「最近食事量が減り、野菜しか食べず、体重も減ってきている。また、疲れやすいようで、日中もベッド上で過ごすことが多い」と相談を受けた。MNA-SFの評価は6点であった。摂食嚥下機能に問題はない。

家族への食事指導として適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 汁物にはとろみをつけましょう。
- b タンパク質を多く含む食品を摂りましょう。
- c 本人の好きなものだけを食べさせましょう。
- d 食事量が少ないときは高カロリー食品を活用しましょう。

【問題 91】 摂食嚥下障害を有する患者の口腔衛生管理時の写真(別冊午前 No. 37)を別に示す。

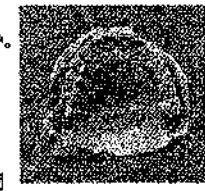
患者の姿勢で正しいのはどれか。2つ選べ。



【問題 92】 印象体から除去した直後の模型の写真(別冊午前 No. 38)を別に示す。

感染対策として模型に行うのはどれか。1つ選べ。

- a EOG滅菌を実施
- b 10%ホルマリン溶液に浸漬
- c 2%グルタール溶液で清拭
- d アルコール系消毒薬を噴霧して密閉



【問題 93】 セラミックインレーの装着に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a リン酸亜鉛セメント
- b 接着性レジンセメント
- c グラスアイオノマーセメント
- d ポリカルボキシレートセメント

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 89】 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

【問題 94】 仮封材の性質と特徴を表に示す。

番号	密着性	除去法	特徴
①	◎	機械的	除去が容易
②	○	機械的、溶剤	歯根に対して鎮静効果がある
③	×	加熱軟化	操作しやすいが脱着しやすい
④	○	機械的	操作しやすく除去が容易

◎：より良好 ○：良好 ×：不良

水硬性仮封材はどれか。1つ選べ。

ただし、①～④は、酸化亜鉛ユーージノールセメント、水硬性仮封材、テンポラリーストップング、レジン系仮封材のいずれかである。

- a ① b ② c ③ d ④

【問題 95】 30歳の男性。上顎右側第二小臼歯の一過性の冷水痛を主訴として来院した。検査の結果、コンポジットレジン修復を行うことになった。う蝕除去後の口腔内写真（別冊午前 No. 39A）と器具の写真（別冊午前 No. 39B）を別に示す。

次に使用するのどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

【問題 96】 50歳の男性。上顎左側第一大臼歯の自発痛を主訴として来院した。3か月前から強い冷水痛があったがそのままにしていたところ、昨夜食事中に修復物が脱落して、自発痛が生じたという。冷水を口に含むと一時的に疼痛が緩和するという。打診痛を認めた。急性化膿性歯髄炎と診断された。ラバーダム装着後の口腔内写真（ミラー像）（別冊午前 No. 40A）、初診時のエックス線画像（別冊午前 No. 40B）および器具の写真（別冊午前 No. 40C）を別に示す。

次の操作で使用するのどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

【問題 97】 器具の写真（別冊午前 No. 41）を別に示す。

歯肉切除術に使用するのどれか。

2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

【問題 98】 全部床義歯の製作時に用いる器具の写真（別冊午前 No. 42）を別に示す。

この器具を用いるのどれか。1つ選べ。

- a 概形印象採得
- b 筋圧形成
- c 下顎安静位の計測
- d 水平的顎間関係の記録

答え a

- a 高洞との密着性が最も良好なことから、①は水硬性仮封材である。
- × b 歯髄鎮静効果があることから、②は酸化亜鉛ユーージノールセメントである。
- × c 加熱軟化で除去することから、③はテンポラリーストップングである。
- × d 高洞との密着性が良好で、操作しやすく除去が容易なことから、④はレジン系仮封材である。

答え ac

- 写真Aから上顎右側第二小臼歯の遠心隣接面にコンポジットレジン修復を行うことがわかる。ラバーダム防湿後に行うのは隔壁の設置である。
- a ①は隔壁装置のセクショナルマトリックスである。
 - × b ②はコンタクトゲージである。隣接面の接触状態の診査に用いる。
 - c ③は隔壁装置のリング状リテーナーである。
 - × d ④はセパレーターである。歯間分離する際に用いる。

答え ac

- a ①はFG用ダイヤモンドポイント（切削用）である。次に行う歯室開拓における残存歯質の切削に用いる。
- × b ②はFG用ダイヤモンドポイント（仕上げ用）である。
- c ③はCA用スチール製ラウンドバーである。次に行う軟化象牙質の除去や歯室開拓における髓腔穿孔に用いる。
- × d ④はCA用ホワイトポイントである。成形修復物の仕上げ研磨に用いる。

答え ad

- a ①はカーランドメスである。歯肉切除術で歯肉を切除するために用いる。
- × b ②はコーンプライヤーである。歯周組織再生誘導法（GTR法）で遮断膜を把持して歯面に縫合固定するために用いる。
- × c ③は骨ファイル（ボーンファイル）である。歯肉剝離掻爬（フラップ手術）、歯周組織再生誘導法（GTR法）、歯槽骨整形術などで歯槽骨整形や肉芽組織の除去のために用いる。
- d ④はポケットマーカである。歯肉切除術でポケット底を歯肉表面に印記するために用いる。

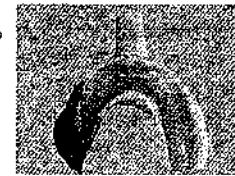
答え c

- × a 概形印象採得には既製トレーとアルジネート印象材を用いる。
- × b 筋圧形成には個人トレー、コンパウンド印象材、アルコールトーチランプ、温水および恒温槽などを用いる。
- c 下顎安静位の計測には写真のデンタルノギスを用いる。
- × d 水平的顎間関係の記録にはゴシックアーチ描記装置、咬合床などを用いる。

【問題 99】 72歳の女性。下顎の部分床義歯が合わないため、義歯の新製を主訴として来院した。印象用トレーの写真（別冊午前 No. 43）を別に示す。

このトレーを用いて印象採得するための印象材はどれか。1つ選べ。

- a 寒天印象材
- b シリコンゴム印象材
- c モデリングコンパウンド
- d 酸化亜鉛ユーージノール印象材



答え b

- × a 寒天印象材はアルジネート印象材と連合印象で用いることが多い。インレー、クラウン、ブリッジなどの印象採得で用いる。義歯の印象には用いない。
- b 写真はベリコンパウンドで筋圧形成した後の個人トレーで、シリコンゴム印象材を用いて印象採得する。
- × c、× d モデリングコンパウンドと酸化亜鉛ユーージノール印象材は非弾性印象材なので、残存歯のある症例では用いない。

【問題 100】 64歳の男性。下唇の腫脹を主訴として来院した。半年前から同症状の再発と消失を繰り返しているという。診断の結果、無痛性の腫瘍の内部に粘液が貯留しており、摘出することになった。器具の写真（別冊午前 No. 44）を別に示す。

使用するのどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④



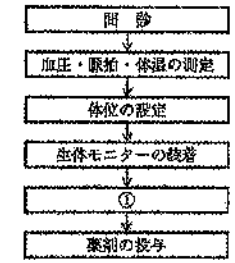
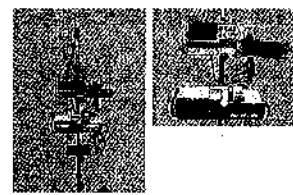
答え c

- 下唇の腫脹は再発と消失を繰り返しており、無痛性の腫瘍の内部に粘液が貯留していることから粘液嚢胞と考えられる。
- × a ①は破骨鉗子である。粘液嚢胞の摘出には使用しない。
 - × b ②は骨膜剥離子である。粘液嚢胞の摘出には使用しない。
 - c ③は尖刃刀（#11）とメスホルダーである。粘液嚢胞の摘出には、尖刃刀、粘膜剥離子、剥離剪刀、モスキート・ペアン鉗子などを使用する。
 - × d ④はエレベーター（抜歯鉗子）である。粘液嚢胞の摘出には使用しない。

【問題 101】 42歳の男性。多数歯のインプラント手術を予定している。強い不安を抱いているため鎮静法で手術することになった。鎮静法の術式の流れを図に、使用する機器の写真（別冊午前 No. 45）を別に示す。

①はどれか。1つ選べ。

- a 局所麻酔
- b 静脈路の確保
- c 酸素吸入の開始
- d 鼻マスクの装着



答え b

- × a、○ b 写真から静脈内鎮静法を行うことがわかる。術式は、問診→血圧・脈拍・体温の測定→体位の設定→生体モニターの装着→静脈路の確保（b）→薬剤の投与→局所麻酔（a）→インプラント手術となる。したがって、①はbが正解となる。
- × c 静脈内鎮静法では酸素吸入は行わない。
- × d 静脈内鎮静法では鼻マスクは装着しない。

【問題 102】 矯正歯科治療用器具の写真（別冊午前 No. 46）を別に示す。

適切な用途はどれか。1つ選べ

- a アーチワイヤーの屈曲
- b マルチブラケットの位置決め
- c 歯冠近遠心径と歯列弓長径の計測
- d バンドへのアタッチメント点溶接



答え a

- a 写真はアーチフォーマーである。アーチワイヤーの屈曲のために用いる。
- × b マルチブラケットの位置決めにはポジショニングゲージを用いる。
- × c 歯冠近遠心径と歯列弓幅径の計測にはデンタルノギスを用いる。歯列弓長径の計測には大坪式模型計測器を用いる。
- × d バンドへのアタッチメント点溶接にはスポットウェルダを用いる。

【問題 103】 86歳の女性。脳梗塞の既往があり要介護認定を受けている。家族から歯歯修理の依頼があり、歯科訪問診療を行った。口腔乾燥が顕著であり、乾燥痕が多く付着していたため、歯科医師から口腔衛生管理の指示を受けた。

乾燥痕を除去する際の対応として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 毛の硬い歯ブラシを使用する。
- b 少量の水で乾燥痕を潤滑させる。
- c 頸部は前屈させた状態を保持する。
- d 歯ブラシを口蓋の前方から後方へ動かす。

答え bc

- × a 乾燥痕を除去するには湿らせた軟らかいブラシやスポンジブラシを使用する。
- b 少量の水で乾燥痕を潤滑させると除去しやすい。
- c 頸部を伸展させると口腔内に溜まった唾液を誤嚥する可能性が高くなるので、頸部は前屈させた状態を保持する。
- × d 乾燥痕を咽頭に落とさないように、ブラシを口蓋の後方から前方へ動かす。

【問題 104】 7歳の男児。歯の痛みを主訴として来院した。ADHD（注意欠陥多動性障害）と診断され、治療を受けているという。歯科診療に慣れておらず、緊張した様子だったため、①診療に関する説明は抽象的な表現を用い、②人が多い空間で対応することを心掛けた。③急な起き上がりに配慮し、④1回の処置時間は長く設定した。

下線部で正しい対応はどれか。1つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④

答え c

× a ADHD（注意欠陥多動性障害）の患者には抽象的な表現では混乱をきたすので、具体的な表現を用いる。

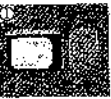

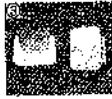

× b 気が散らないように人の少ない空間で対応する。

○ c 不注意、多動性、衝動性を特徴とするので、急な起き上がりに配慮する。

× d 集中力が続かないので、ケアタイムは短くする。

【問題 105】 23歳の女性。上顎左側側切歯の着色を主訴として来院した。歯科医師から二等分法によるデジタルエックス線撮影を行う準備をするように指示された。使用する器材の写真（別冊午前No.47）を別に示す。

この撮影に用いるのはどれか。2つ選べ。

a ①  b ②  c ③  d ④ 

答え ad

○ a ①はイメージングプレート（IP）である。デジタルエックス線撮影後にスキャナーで走査する必要がある。

× b ②は歯科用エックス線のインスタントフィルムで、デジタルエックス線撮影では用いない。

× c ③は従来から用いられてきたエックス線フィルムで咬翼法に用いる。デジタルエックス線撮影では用いない。

○ d ④はセンサーケーブルありの固体半導体センサー（CCD、CMOS）である。デジタルエックス線撮影に用いる。

【問題 106】 健康小児の運動機能の発達で定額が認められる時期はどれか。1つ選べ。

a 3～4か月
b 7～8か月
c 12～14か月
d 16～18か月

答え a

○ a、× b、× c、× d 定額は「首がすわる」ことである。「首がすわる」のは、生後3～4か月である。

【問題 107】 地域支援事業の一環として実施されている、高齢者の「通いの場」での歯科衛生士の役割はどれか。2つ選べ。

a 「健口体操」の指導
b 服薬管理についての講話
c 口腔機能の簡単なアセスメントの実施
d 独居高齢者を対象とした食事会の開催

答え ac

○ a 「健口体操」の指導は口腔機能管理に含まれるので歯科衛生士が行う。

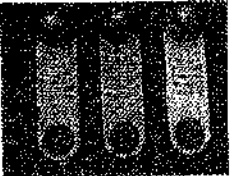
× b 服薬管理についての講話は歯科衛生士の役割ではない。

○ c 口腔機能の簡単なアセスメントの実施は口腔機能管理に含まれるので歯科衛生士が行う。

× d 独居高齢者を対象とした食事会の開催は歯科衛生士の役割ではない。

【問題 108】 口腔機能訓練器具の写真（別冊午前No.48）を別に示す。この器具を用いた機能訓練で改善が期待できる発音はどれか。2つ選べ。

a ヒ
b フ
c マ
d ヨ



答え ad

写真は舌抵抗訓練器具（ペコぱんだ®）である。舌圧の向上のための筋力増強訓練に用いる。

○ a 「ヒ」は硬口蓋音で、舌と硬口蓋の位置関係で構音されるため、舌の機能訓練で改善が期待できる。


× b 「フ」は両唇音で、上下の口唇が接触することで構音される。

× c 「マ」は両唇音で、上下の口唇が接触することで構音される。

○ d 「ヨ」は硬口蓋音で、舌と硬口蓋の位置関係で構音されるため、機能訓練で改善が期待できる。

【問題 109】 17歳の女子。脳性麻痺の診断を受けており、家族から「最近食事の時にむせるのが気になる。」と相談を受けた。家族の食事介助の様子（別冊午前No.49A、B）を別に示す。家族への指導として適切なものはどれか。2つ選べ。

a 頭をやや前屈させましょう。
b 一口量を少なくしましょう。
c 横向きに寝かせて食べさせましょう。
d ボウル部の深いスプーンを使いましょう。



答え ab

○ a 頭をやや前屈させることにより誤嚥を防止する。

○ b、× d ボウル部の浅いスプーンを使用して、一口量を少なくすることにより、誤嚥を防止する。

× c 横向きに寝かせて食べさせると誤嚥しやすい。

【問題 110】 70歳の男性。食べづらさを主訴として来院した。脳梗塞の既往がある。口腔機能低下症の検査結果を表に示す。適切な口腔機能訓練はどれか。2つ選べ。

a 舌抵抗訓練
b アイスマッサージ
c 口唇の可動域訓練
d バルーン拡張訓練

評価項目	該当
口腔不閉	なし
口腔乾燥	なし
咬合力低下	なし
舌口唇運動機能低下	あり
低舌圧	あり
嚥下機能低下	なし
嚥下機軸低下	なし

答え ac

○ a 舌抵抗訓練はスプーンや指などで舌に負荷をかけ、10秒間程度抵抗することにより舌の運動範囲と筋力を同時に改善する方法である。舌口唇運動機能低下と低舌圧がみられるため、舌抵抗訓練を行うのは適切である。

× b アイスマッサージは綿棒に冷水をつけ、口蓋弓を刺激して嚥下反射を誘発する訓練で、嚥下反射の惹起が遅延している場合に有効である。

○ c 口唇の可動域訓練は唇の筋肉を強化し、その動きをスムーズにするための訓練である。舌口唇運動機能低下がみられるため、口唇の可動域訓練を行うのは適切である。

× d バルーン拡張訓練は食道入口部をバルーン（風船）で機械的に拡張して、食道入口部の嚥下障害を改善するためにを行う訓練である。

34-B 午後問題解説

【問題 1】 口腔から入った食物の通過順序で正しいのはどれか。

- 1つ選べ。
- a 直腸 → 結腸 → 回腸 → 空腸
 - b 空腸 → 回腸 → 結腸 → 直腸
 - c 結腸 → 空腸 → 直腸 → 回腸
 - d 回腸 → 直腸 → 空腸 → 結腸

答え b

× a、○ b、× c、× d 口腔から入った食物の通過順序は、口腔→咽頭→食道→胃→十二指腸→空腸→回腸→盲腸→結腸→直腸→肛門である。したがって、正解はbである。

【問題 2】 象牙質にみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯小皮
- b 周波条
- c Retzius (レチウス) 条
- d Owen (オーエン) 外形線

答え d

× a 歯小皮とは、エナメル質表面を覆う耐酸性有機性薄膜である。萌出後に消失する。対合歯の接触による摩擦で失われることが多い。

× b 周波条とは、レチウス条がエナメル質表面に終わる一連の溝である。

× c Retzius (レチウス) 条とは、横紋の5~10本間隔ごとにみられるよく発達したエナメル質の成長線である。

○ d Owen (オーエン) 外形線とは、象牙質にみられる石灰化の低い部分(球間象牙質)の連なりである。

【問題 3】 頭蓋骨側面の写真(別冊午後No.1)を別に示す。

矢印で示す部位に付着するのはどれか。1つ選べ。

- a 咬筋
- b 側頭筋
- c 外側翼突筋
- d 内側翼突筋



答え c

× a 咬筋の起始は頬骨弓、停止は下顎枝外面(咬筋粗面)に付着する。

× b 側頭筋の起始は側頭窩、停止は筋突起に付着する。

○ c 外側翼突筋の上頭の起始は蝶形骨大翼、停止は関節円板に付着する。外側翼突筋の下頭の起始は、矢印で示す蝶形骨翼状突起外側板、停止は関節突起の下顎頭内面(翼突筋窩)に付着する。

× d 内側翼突筋の起始は蝶形骨翼状突起翼突窩、停止は下顎枝内面(翼突筋粗面)に付着する。

【問題 4】 口腔内写真(別冊午後No.2)を別に示す。

矢印で示すのはどれか。

- 1つ選べ。
- a 下唇小帯
 - b 口蓋小窩
 - c 舌下小丘
 - d 耳下腺乳頭



答え c

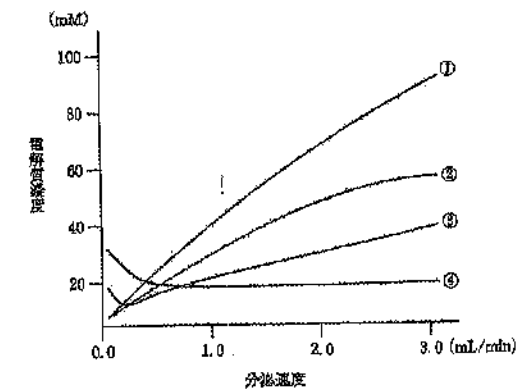
× a 下唇小帯は、下唇の裏側と下顎前歯唇側歯肉をつなぐ粘膜の小帯である。

× b 口蓋小窩は、硬口蓋後方の正中線近くに存在する。口蓋小窩には口蓋腺が開口しているが、存在しないこともある。

○ c 矢印で示すのは舌下小丘である。顎下腺と舌下腺の開口部位である。

× d 耳下腺乳頭は上顎第二大臼歯の頬粘膜に位置し、耳下腺の開口部位である。

【問題 5】 耳下腺唾液の電解質濃度と分泌速度の関係を図に示す。



Na⁺はどれか。1つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

答え a

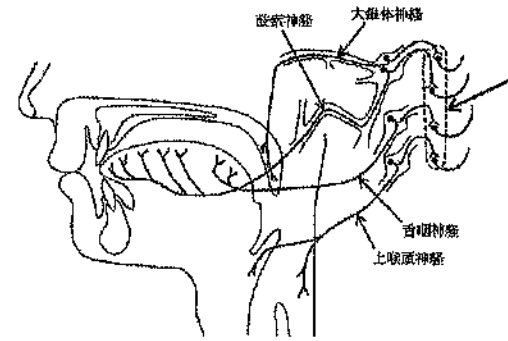
○ a ①はNa⁺である。

× b ②はHCO₃⁻である。

× c ③はCl⁻である。

× d ④はK⁺である。

【問題 6】 味覚の神経機構を模式図に示す。



①で示す点線で囲んだ部位はどれか。1つ選べ。

- a 孤束核
- b 下唾液核
- c 三叉神経運動核
- d 三叉神経中脳路核

答え a

○ a ①は「孤束核」ではなく、正しくは「孤束核」である。味覚情報は、味覚神経→延髄の孤束核→視床後腹側内側核→大脳皮質一次味覚野といった経路で伝達される。

× b 延髄の下唾液核は耳下腺の唾液分泌に関与するものであり、味覚とは無関係である。

× c、× d 三叉神経運動核と三叉神経中脳路核は顎反射に関与するものであり、味覚とは無関係である。

【問題 7】 グアニンと水素結合しDNAを構成するのはどれか。

1つ選べ。

- a チミン
- b アデニン
- c ウラシル
- d シトシン

答え d

× a、× b チミン (T) と水素結合するのは、アデニン (A) である。

× c ウラシル (U) と水素結合するのは、アデニン (A) である。

○ d シトシン (C) と水素結合するのは、グアニン (G) である。

【問題 8】 自己免疫疾患はどれか。1つ選べ。

- a 白板症
- b 紅板症
- c 天疱瘡
- d 帯状疱疹

答え c

× a、× b 白板症と紅板症は口腔潜在的悪性疾患(悪性化の危険性を有する病変)である。

○ c 天疱瘡は自己免疫疾患である。

× d 帯状疱疹はウイルス性疾患である。

【問題 9】 エプーリスの発症部位はどれか。1つ選べ。

- a 舌
- b 歯肉
- c 頬粘膜
- d 口蓋粘膜

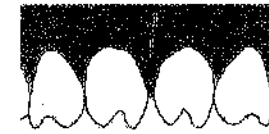
答え b

× a、○ b、× c、× d エプーリスとは、歯肉に局限して生じる良性の増殖性腫瘍である。妊婦にみられる妊娠性エプーリスはエストロゲンの分泌増加が誘因となる。出産後に縮小、消失する。

【問題 10】 ある患者の上顎前歯の形態を模式図に示す。

この患者の胎児期に母親の罹患が疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 糖核
- b 梅毒
- c 風疹
- d 麻疹



答え b

× a、○ b、× c、× d 前歯部切縁に半月状欠損がみられるので、模式図はハッチンソンの歯を示している。ハッチンソンの歯は先天性梅毒でみられる。

【問題 11】 ワクチンの概念をつくったのはどれか。1つ選べ。

- a 野口英世
- b 北里柴三郎
- c ロベルト・コッホ
- d エドワード・ジェンナー

答え d

× a 野口英世は梅毒や黄熱病の病原体について研究した細菌学者である。

× b 北里柴三郎は破傷風やペストなどの細菌について研究した細菌学者である。

× c ロベルト・コッホは近代細菌学の開祖といわれている。純培養法の開発と病原体決定のための「コッホの条件」を確立した。

○ d エドワード・ジェンナーは近代免疫学の父といわれている。天然痘に関してワクチンの概念をつくった。

【問題 12】 Antimicrobial Resistance (AMR) はどれか。1つ選べ。
 a 化学療法
 b 乾熱滅菌
 c 薬剤耐性
 d 標準予防策

答え c
 × a 化学療法とは、化学物質（抗悪性腫瘍薬、抗真菌薬など）を用いた治療法のことである。
 × b 乾熱滅菌とは、160℃～200℃で、30分～2時間加熱することにより微生物やDNaseなどの酵素やタンパク質を変性させて失活させる滅菌法である。金属、ガラス等の器具などの滅菌に用いられる。
 ○ c 薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial Resistance) とは、一般的に抗生物質や抗生剤と呼ばれる「抗菌薬」の不適切な使用などにより、抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなることである。
 × d 標準予防策 (スタンダード・プレコーション) とは、患者の血液・体液や患者から分泌排泄される尿・痰・便・膿などのすべての湿性物質（汗は除く）は何らかの病原体を含んでいる可能性があることを前提とした感染予防策である。

【問題 13】 薬局などで自分で選んで買える医薬品 (OTC 医薬品) の分類を図に示す。
 ①はどれか。1つ選べ。
 a 医薬部外品
 b 医療用医薬品
 c 要指導医薬品
 d 処方せん医薬品

	OTC 医薬品		
	一般用医薬品		
①	第1類	第2類	第3類

答え c (厚労省発表：採点対象から除外する。)
 理由：問題としては適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。
 × a 医薬部外品には、薬用歯磨剤、育毛剤、入浴剤などが該当し、医薬品には含まれない。
 × b 医薬品には医療用医薬品と OTC 医薬品がある。
 ○ c OTC 医薬品は①の要指導医薬品と一般用医薬品 (第1類、第2類、第3類) に分類されている。
 × d 処方せん医薬品は医療用医薬品のうち医師・歯科医師の処方せんによるものとして、厚生労働大臣が指定する医薬品である。

【問題 14】 筋肉の特徴を表に示す。
 この筋肉の収縮を抑制するのはどれか。1つ選べ。
 a β 遮断薬
 b 抗コリン薬
 c 競合性筋弛緩薬
 d 抗ヒスタミン薬

特徴	
横紋	有
運動	随意性

答え c
 表に示す横紋があり、随意性のある筋とは骨格筋である。一方、横紋があり、不随意性の筋は心筋で、横紋が無し、不随意性の筋は平滑筋である。
 × a β 遮断薬はアドレナリン受容体の1つであるβ受容体を遮断する薬物で、心筋の収縮を抑制する。
 × b 抗コリン薬はアセチルコリンという神経伝達物質の作用を阻害する薬物で、平滑筋の収縮を抑制する。
 ○ c 骨格筋の収縮を抑制するのは競合性筋弛緩薬である。
 × d 抗ヒスタミン薬 (H₁ 遮断薬) は抗アレルギー薬の1つで、気管支平滑筋の収縮を抑制する。

【問題 15】 アミド型局所麻酔薬が主に代謝されるのはどれか。1つ選べ。
 a 肺
 b 肝臓
 c 血漿
 d 粘膜

答え b
 × a、○ b、× c、× d アミド型局所麻酔薬は主に肝臓のアミダーゼで分解される。一方、エステル型局所麻酔薬は血漿中のコリンエステラーゼで分解される。

【問題 16】 萌出後のエナメル質の成熟に関係する唾液中のイオンはどれか。2つ選べ。
 a K⁺
 b Na⁺
 c Ca²⁺
 d PO₄³⁻

答え c d
 × a K⁺はカリウムイオンである。
 × b Na⁺はナトリウムイオンである。
 ○ c、○ d Ca²⁺はカルシウムイオン、PO₄³⁻はリン酸イオンであり、フッ化物イオンなどとともに萌出後のエナメル質の成熟に関係する。

【問題 17】 ブラークコントロールで状況の改善が期待できるのはどれか。2つ選べ。
 a 不正咬合
 b 誤嚥性肺炎
 c 慢性副鼻腔炎
 d 全身因子関連歯肉炎

答え b d
 × a、× c 不正咬合や慢性副鼻腔炎は、ブラークコントロールでは状況の改善が期待できない。
 ○ b 誤嚥性肺炎は口腔内細菌が関与しており、ブラークコントロールで状況の改善が期待できる。
 ○ d 全身因子関連歯肉炎はブラークおよび全身因子が関与しており、ブラークコントロールで状況の改善が期待できる。

【問題 18】 市販のフッ化物配合洗口剤が該当する法令上の分類はどれか。1つ選べ。
 a 雑貨
 b 医薬品
 c 化粧品
 d 医薬部外品

答え b
 × a 洗口剤や歯磨剤は雑貨ではない。
 ○ b 市販のフッ化物配合洗口剤はう蝕予防を目的としたフッ化物が配合されており医薬品に該当する。
 × c 基本成分のみの歯磨剤などは化粧品に該当する。
 × d 基本成分に薬用成分が含まれている歯磨剤は、通常は医薬部外品に該当する。一部は医薬品に分類される。

【問題 19】 う蝕予防のために用いられる代用甘味料の特徴を表に示す。

代用甘味料	甘味度	原材料	軟下作用
①	0.45	スクロース	ない
②	0.6~0.7	グルコース	ある
③	1.1	キシロース	ある
④	180	アミノ酸	ない

甘味度：砂糖の甘味度を1とした場合

糖アルコールはどれか。2つ選べ。

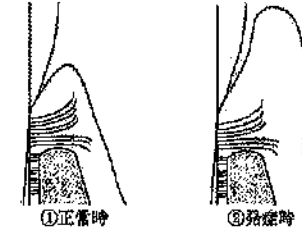
a ① b ② c ③ d ④

答え b c
 × a ①はスクロースから作られたバラチノースである。
 ○ b ②はグルコースの糖アルコールであるソルビトールである。
 ○ c ③はキシロースの糖アルコールであるキシリトールである。
 × d ④はアミノ酸から作られたアスパルテームである。

【問題 20】 歯周組織の断面の模式図を示す。

②はどれか。1つ選べ。

- a 歯周膿瘍
- b 慢性歯周炎
- c ブラーク性歯肉炎
- d 壊死性潰瘍性歯周炎



答え c
 × a 歯周膿瘍は歯周組織に膿瘍が形成されたものである。
 × b、× d 慢性歯周炎や壊死性潰瘍性歯周炎では歯槽骨吸収が認められる。
 ○ c 図をみると、歯槽骨吸収はみられないが、辺縁歯肉の位置が歯冠側に移動することによる仮性ポケットが形成されている。歯肉腫脹がみられるブラーク性歯肉炎と考えられる。

【問題 21】 22歳の女性。口臭を主訴として来院した。喫煙はせず、全身健康状態は良好である。口腔内診査の結果、治療を要する歯科疾患は認められない。官能検査の結果はスコア0であった。呼吸気のアスチグラフ検査の結果を表に示す。

検査項目	結果
硫化水素	基準値未満
メチルメルカプタン	基準値未満
ジメチルサルファイド	基準値未満

考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 病的口臭
- b 外因性口臭
- c 心因性口臭
- d 生理的口臭

答え c
 × a、× d 病的口臭および生理的口臭は真性口臭症の1つで、社会的容認限度を超える明らかな口臭が認められる。
 × b 外因性口臭は食品や酒、タバコなどの外来物質による口臭である。
 ○ c 心因性口臭は、嗅覚でにおいが感知できず、機器分析でもにおい物質を検出できない。今回の患者は口臭を主訴としているが、官能試験やアスチグラフ検査などから異常は認めず、心因性口臭と考えられる。

【問題 22】 歯周病に関する指数の診査対象歯を図に示す。該当する指数はどれか。1つ選べ。

6	2	4
4	2	6

該当する指数はどれか。1つ選べ。

- a GI
- b PI
- c GB Count
- d PMA Index

答え a
 ○ a 対象歯から、該当する指数はGIである。
 × b PIは原則として口腔の現在歯全歯を対象とする。
 × c GB Countは現在歯すべての歯肉と歯槽骨を対象とする。
 × d PMA Indexは前歯部もしくは全歯を対象とする。

【問題 23】 老年人口割合の算出式を図に示す。

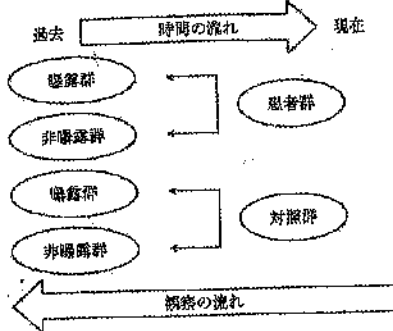
$$\text{老年人口割合} = \frac{\text{老年人口}}{\text{①}}$$

①はどれか。1つ選べ。

- a 総人口
- b 従属人口
- c 年少人口
- d 生産年齢人口

答え a
 ○ a、× b、× c、× d 老年人口とは65歳以上の人口のことである。老年人口割合 = 老年人口 ÷ 総人口 × 100 (%) なので、①は総人口である。

【問題 24】 疫学研究計画の流れを図に示す。



この研究方法の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 調査期間が長い。
- b 前向き研究である。
- c 罹患率を推計できる。
- d まれな疾患の研究に適している。

【問題 25】 Breslow の7つの健康習慣で食習慣に関連する項目はどれか。2つ選べ。

- a 好き嫌いをしない。
- b 朝食を毎日食べる。
- c よく噛んで食べる。
- d 不必要な間食をしない。

【問題 26】 母子健康手帳で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 都道府県が交付する。
- b 出生届の提出により交付される。
- c 児童福祉法に基づいて交付される。
- d 居住者には国籍にかかわらず交付される。

【問題 27】 歯科診療所の感染予防対策として、口腔外パキューム装置を設置した。労働衛生管理で該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 健康管理
- b 作業管理
- c 保健管理
- d 作業環境管理

【問題 28】 我が国の衛生行政で保健所が拠点となるのはどれか。1つ選べ。

- a 健康危機管理
- b 医療保険の指導監督
- c 地域に密着した保健指導
- d 母子・父子福祉センターの運営

答え d

患者群と対照群（結果）で分けて観察しているのが、この研究方法は、患者対照研究である。一方、原因で分けて観察する研究は、コホート研究である。

- × a 調査期間が長いのは、コホート研究である。
- × b 患者対照研究は、後ろ向き研究である。
- × c 罹患率を推計できるのは、コホート研究である。
- d 患者対照研究は、調査期間が短く、費用も少ないため、まれな疾患の研究に適している。

答え b d

× a、○ b、× c、○ d Breslow の7つの健康習慣を以下に示す。

- ①喫煙をしない
- ②定期的に運動をする
- ③飲酒は適量を守るあるいは飲酒しない
- ④1日7～8時間の睡眠をとる
- ⑤適正体重を維持する
- ⑥朝食を食べる
- ⑦間食をしない

食習慣に関連する項目は、③⑥⑦のため、正解はbとdである。

答え d

× a、× b 母子健康手帳は妊娠を届出をした者に対して、市町村長が交付する。

- × c 母子健康手帳は母子保健法に基づいて交付される。
- d 母子健康手帳は居住者には国籍にかかわらず交付される。

答え d

× a 健康管理は労働安全衛生管理の1つで、労働者の健康を管理することである。健康診断、健康診断の事後措置、ワクチン接種などが該当する。

- × b 作業管理は労働安全衛生管理の1つで、労働者の作業そのものを管理することである。作業姿勢、作業衣の交換、マスク・グローブの着用などが該当する。
- × c 保健管理は学校保健（保健教育・保健管理・組織活動）の領域の1つである。
- d 作業環境管理は労働安全衛生管理の1つで、快適な作業環境で労働できるようにすることである。口腔外パキューム装置の設置、室内換気などが該当する。

答え a

- a 我が国の衛生行政で地域の健康危機管理の拠点は保健所である。
- × b 医療保険の指導監督については、厚生労働省が主にその役割を担っている。
- × c 地域に密着した保健指導は市町村保健センターの業務の1つである。
- × d 母子・父子福祉センターは、ひとり親家庭や寡婦の自立、生活の安定、福祉の向上等に役立つ支援を行う施設で、その運営は一般的に地方自治体や社会福祉法人が行っている。

【問題 29】 地域において精神保健活動を行っている機関はどれか。2つ選べ。

- a 保健所
- b 衛生研究所
- c 精神保健福祉センター
- d 地域包括支援センター

答え a c

- a 保健所は地域保健法に規定された地域の健康危機管理の拠点である。保健所の業務に精神保健に関する事項がある。
- × b 衛生研究所とは、一般的に公衆衛生や環境衛生の分野における研究や検査を専門的に行う機関のことをいう。
- c 精神保健福祉センターは精神保健福祉法に規定された都道府県（指定都市）の精神保健福祉に関する技術的中核機関である。
- × d 地域包括支援センターは、地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防の必要な援助などを行い、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、地域包括ケア実現に向けた中核的な機関として市町村が設置している。

【問題 30】 介護保険制度における地域ケア会議の目的はどれか。1つ選べ。

- a 地域課題の把握
- b 要介護認定の審査
- c 居宅サービス計画の作成
- d サービス付き高齢者向け住宅の設置

答え a

- a 地域ケア会議とは、高齢者や障害者を対象にした地域包括ケアシステムの一環として行われる会議で、医療、介護、福祉、行政、住民など多様な関係者が集まり、地域課題の把握を目的とした話し合いを行う。この会議の主な構成員として歯科衛生士が明記されている。
- × b 要介護認定の審査は介護認定審査会で行う。
- × c 居宅サービス計画の作成は介護支援専門員（ケアマネジャー）が行う。
- × d サービス付き高齢者向け住宅の設置は、主に民間企業や介護事業者などが国や自治体の規制に則って行う。

【問題 31】 判断能力のある患者へのインフォームド・コンセントで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 看護師や歯科衛生士の責任で説明できる。
- b 患者にとって有害な情報の提供は制限する。
- c 医師が勧める治療を受け入れるために行われる。
- d 16歳以上の未成年の場合は保護者と本人の同意を得る。

答え d

- × a 看護師や歯科衛生士ではなく、医師や歯科医師の責任で説明する。
- × b 患者にとって有害な情報も提供する必要がある。
- × c インフォームド・コンセントは医師が勧める治療を受け入れるために行われるものではない。
- d インフォームド・コンセントとは病状、治療方針の説明および治療の同意を得ることである。16歳以上の未成年の場合は保護者と本人の同意を得る。

【問題 32】 歯科医療機関におけるヒューマンエラー対策の充実を図るため、従事者の問題解決能力を高めることとした。適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 危険予知訓練の実施
- b 多重防御機能の整備
- c アフォーダンスの構築
- d チェックリストの作成

答え a

- a 従事者の問題解決能力を高めるのは、ヒューマンエラー対策におけるヒューマン面からの取組みであり、危険予知訓練の実施は適切な対応である。
- × b、× c 多重防御機能の整備とアフォーダンスの構築はヒューマンエラー対策におけるハード面からの取組みである。
- × d チェックリストの作成はヒューマンエラー対策におけるソフト面からの取組みである。

【問題 33】 職業倫理に関する規範の一部を図に示す。

(序文から抜粋)
我々は、口腔保健の専門家としてすべての人々に奉仕し、公衆の健康の質を高める。歯科保健の必要性は普遍的であり、人種、皮膚の色、年齢、性別、言語、宗教、政治その他のほかの意見、国籍、社会的地位、財産、出生あるいは身分などによって制約されるものではない。

この規範を定めたのはどれか。1つ選べ。

- a 国際歯科連盟
- b 国際労働機関
- c 世界保健機関
- d 国際歯科衛生士連盟

答え d

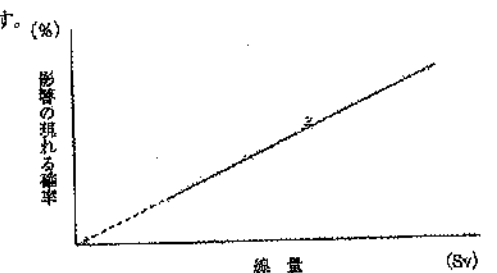
- × a 国際歯科連盟 (FDI: Fédération Dentaire Internationale (フランス語)) は、世界中の歯科医師会や歯科専門組織を代表する国際的な団体である。口腔衛生の向上、教育と啓発、政策提言、研究の推進などを目的としている。
- × b 国際労働機関 (ILO: International Labour Organization) は、労働に関する国際基準を設定し、労働者の権利を保護するために設立された国連の専門機関である。世界の労働環境の改善や社会正義の促進を目的としている。
- × c 世界保健機関 (WHO: World Health Organization) は国際連合の専門機関の1つで、公衆衛生の向上と世界的な保健問題の解決などを目的としている。
- d 国際歯科衛生士連盟 (IFDH: International Federation of Dental Hygienists) は、世界中の歯科衛生士を代表する国際的な団体である。歯科衛生士の専門性を向上させ、口腔保健の普及に貢献することを目的としている。倫理綱領の序文で「我々は、口腔保健の専門家としてすべての人々に奉仕し、公衆の健康の質を高める。歯科保健の必要性は普遍的であり、人種、皮膚の色、年齢、性別、言語、宗教、政治その他のほかの意見、国籍、社会的地位、財産、出生あるいは身分などによって制約されるものではない。」と記述されている。

【問題 34】 新生児から成長発育とともに減少するバイタルサインはどれか。2つ選べ。
 a 呼吸数
 b 心拍数
 c 収縮期血圧
 d 最大酸素飽和度

答え a b
 ○a、○b 呼吸数や心拍数は新生児から成長発育とともに減少するバイタルサインである。
 ×c 収縮期血圧は新生児から成長発育とともに増加するバイタルサインである。
 ×d 最大酸素飽和度は新生児から成長発育とともに減少するとはいえない。また、一般的にバイタルサインは体温、脈拍、血圧、呼吸が基本である。

【問題 35】 CT と MRI に共通する特徴はどれか。2つ選べ。
 a 断層撮影である。
 b 放射線被曝がある。
 c 造影剤が利用できる。
 d フィルムを使用する。


答え a c
 ○a CT と MRI はどちらも断層撮影である。
 ×b CT では放射線被曝があるが、MRI では放射線被曝はない。
 ○c CT と MRI はどちらも造影剤が利用できる。
 ×d CT と MRI はどちらもフィルムを使用しない。

【問題 36】 放射線の線量とその影響の現れる確率の関係を図に示す。(%)

 この図に該当するのはどれか。1つ選べ。
 a 脱毛 b 不妊 c 骨壊死 d 白血病


答え d
 ×a、×b、×c、○d 放射線の線量とその影響の現れる確率が直線で示されており、確率的影響であると判断できる。確率的影響として白血病が該当する。脱毛や不妊、骨壊死は確定的影響（相乗反応）である。

【問題 37】 顎口腔機能検査と用いる方法の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 筋機能検査 —— ゴシックアーチ描記法
 b 下顎運動検査 —— チェックバイト法
 c 構音機能検査 —— パラトグラム
 d 歯列・咬合検査 —— 口腔内スキャナー


答え 厚労省発表：全員正解として採点する。
 理由：選択肢の表現に不備があるため。
 △a ゴシックアーチ描記法は水平的顎関係記録に用いる。また、顎運動の評価として、顎関節や咀嚼筋などによる下顎頭の運動障害の把握にも用いられる。
 △b チェックバイト法は下顎の前方・側方運動時の下顎頭の運動経路（顎路）の測定に用いる。
 △c パラトグラムは構音時に舌が口蓋・歯列に接触する場所を検査するときに用いる。
 △d 口腔内スキャナーは光学印象に用いるが、歯や歯列を光学印象し、歯列や咬合などを再現して検査することができる。

【問題 38】 41歳の男性。上顎白歯の詰め物がとれたことを主訴として来院した。上顎左側第一大臼歯咬合面のインレーが脱落し、コンポジットレジン修復を行うことになった。処置中の口腔内写真（ミラー像）（別冊午後 No. 3）を別に示す。
 この操作の目的はどれか。2つ選べ。
 a 歯間分離
 b 歯肉の圧排
 c 施術野の視野の確保
 d 唾液による窩洞汚染の防止


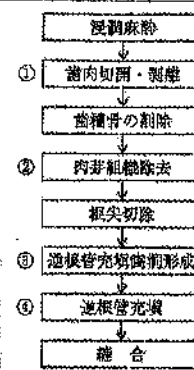
答え c d
 ×a 歯間分離はセパレーターやウェッジが用いられる。
 ×b 歯肉の圧排は圧排糸などが用いられる。
 ○c、○d 写真を見ると、ラバーダム防湿が行われている。コンポジットレジン修復時のラバーダム防湿の目的として、施術野の視野の確保や唾液による窩洞汚染の防止が挙げられる。

【問題 39】 54歳の女性。ブラッシング時に下顎左側中切歯に痛みを感じることを主訴として来院した。同歯の唇側歯頸部を探針で擦過すると一過性の疼痛を確認した。初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 4）を別に示す。
 露出根面に塗布するのはどれか。1つ選べ。
 a ヨードホルム製剤
 b シュウ酸カリウム製剤
 c 水酸化カルシウム製剤
 d 次亜塩素酸ナトリウム溶液



答え b
 ×a ヨードホルム製剤は根管治療に用いられる。
 ○b 症状から根面露出による象牙質知覚過敏症と判断できる。象牙質知覚過敏症では露出根面にシュウ酸カリウム製剤やフッ化ナトリウムなどの塗布を行うとよい。
 ×c 水酸化カルシウム製剤は髄腔や根管治療に用いられる。
 ×d 次亜塩素酸ナトリウム溶液は根管治療に用いられる。

【問題 40】 45歳の女性。上顎左側奥歯の金属の詰め物がとれ冷水がしみることを主訴として来院した。上顎左側第一大臼歯の急性化膿性歯髄炎と診断され、抜髄法が行われた。術中のある操作時のマイクロスコープ写真（別冊午後 No. 5）を別に示す。
 この操作の目的はどれか。
 1つ選べ。
 a 根管充填材の切断
 b 過剰根管充填の予防
 c 根管充填の緊密度向上
 d 根管用シーラーの塗布



答え c
 ×a ガッタパーチャポイントが1本しか挿入されておらず、根管充填材の切断を行っているとは考えにくい。
 ×b 過剰根管充填の予防を目的としてスプレッターで側方加圧することはない。
 ○c 写真を見ると、ガッタパーチャポイントをスプレッターで側方加圧していると判断できる。したがって、この操作の目的は根管充填の緊密度向上である。
 ×d すでにガッタパーチャポイントが挿入されており、根管シーラーの塗布を行っているわけではない。

【問題 41】 上顎右側側切歯に対して、歯根尖切除と逆根管充填が行われることになった。治療過程を図に、使用する器具の写真（別冊午後 No. 6）を別に示す。
 この器具を使用するのはどれか。
 1つ選べ。
 a ①
 b ②
 c ③
 d ④


答え c
 ×a、×b、○c、×d 写真の器具は超音波レトロチップであり、逆根管充填窩洞形成に用いる。したがって③が正しい。

【問題 42】 32歳の男性。上顎左側側切歯の違和感を主訴として来院した。診察の結果、感染根管治療および根管内の異物の除去が行われることになった。初診時のエックス線画像（別冊午後 No. 7A）と仮封材除去後のマイクロスコープ写真（別冊午後 No. 7B）を別に示す。
 異物の除去に使用するのはどれか。1つ選べ。
 a 有鉤探針
 b スプレッター
 c 超音波チップ
 d ニッケルチタンロータリーファイル


答え c
 ×a 有鉤探針は天蓋の確認に用いる。
 ×b スプレッターは根管充填に用いる。
 ○c 根管内の異物に超音波チップで振動を与えて根管壁から緩めて除去する。
 ×d ニッケルチタンロータリーファイルは根管形成に用いる。

【問題 43】 フラップ手術の手術の口腔内写真（別冊午後 No. 8）を別に示す。
 粘膜骨膜剥離をしているのはどれか。1つ選べ。
 a ① b ② c ③ d ④


答え b
 ×a ①はメスを使用して歯肉の切開を行っている。
 ○b 写真を見ると、粘膜骨膜剥離をしているのは②であると判断できる。
 ×c ③はスケーリング・ルートプレーニングを行っている。
 ×d ④は歯肉が縫合されている。

【問題 44】 45歳の女性。下顎左側小臼歯部の歯が伸びて見えることを主訴として来院した。歯周基本治療後に、下顎左側第一小臼歯の歯根露出に対して根面被覆を目的に歯周形成術を行うことになった。手術中の口腔内写真（別冊午後 No. 9）を別に示す。行った手術はどれか。1つ選べ。



- a 歯肉剥離掻爬術
- b 遊離歯肉移植術
- c 歯肉弁側方移動術
- d 歯肉弁歯冠側移動術

答え b

- × a 歯肉剥離掻爬術は根面被覆を目的とする歯周形成術ではない。
- b 写真から周囲と色調の異なる移植片が縫合されているのがわかる。したがって、根面被覆を目的に遊離歯肉移植術が行われたと判断できる。
- × c、× d 歯肉弁側方移動術や歯肉弁歯冠側移動術は根面被覆を目的に行う歯周形成術であるが、剥離した歯肉弁を移動させるもので、移植片の縫合は行わない。

【問題 45】 1歯欠損に応用される2種類の補綴装置の写真（別冊午後 No. 10A、B）を別に示す。Aと比較したBの特徴はどれか。2つ選べ。



- a 違和感が少ない。
- b 侵襲性が小さい。
- c 咀嚼能率が高い。
- d 取り外しが容易である。

答え ac

- 写真Aは部分床義歯で、写真Bはブリッジである。
- a ブリッジは固定性のため、部分床義歯より違和感が少ない。
 - × b ブリッジは支台歯形成するため、部分床義歯より侵襲性が大きい。
 - c ブリッジは固定性のため、部分床義歯より咀嚼能率が高い。
 - × d ブリッジは固定性のため、患者自身で取り外しはできない。

【問題 46】 25歳の女性。前歯部の審美不良を主訴として来院した。上顎左側側切歯の欠損に対してインプラント治療を行うことになった。補綴装置の製作過程の写真（別冊午後 No. 11）を別に示す。矢印で示す開口部分の目的はどれか。1つ選べ。



- a 印象材の注入
- b 印象材の剝離防止
- c 印象圧のコントロール
- d 印象用コーピングの操作

答え d

- × a、× b、× c、○ d インプラント治療では印象採得を行う場合、個人トレーと印象用コーピングを用いる。個人トレーには2種類があり、写真のように印象用コーピングが貫通できる穴の開いたオープントレーを用いる方法と穴のないクローズドトレーを用いる方法がある。オープントレー法では印象用コーピングを印象内に取り込むため、スクレイドライバーを操作できるようにトレーが開口させている。

【問題 47】 下顎部分床義歯の写真（別冊午後 No. 12）を別に示す。矢印で示す部位について正しいのはどれか。1つ選べ。



- a 大連結子である。
- b 支持機能を有する。
- c クラスプと床をつなぐ。
- d 断面形態は円形である。

答え a

- a、× c 左側臼歯部の間接支台装置（クラスプ）と右側臼歯部の歯床をつないでいるのは連結装置である。連結装置には、大連結子と小連結子があり、矢印は大連結子であるリングルバーで、そのリングルバーとクラスプをつないでいるのが小連結子である。
- × b 支持機能を有する大連結子はリングルプレートである。
 - × d リングルバーの断面形態は半洋梨状である。

【問題 48】 54歳の女性。下顎左側の咀嚼困難を主訴として来院した。インプラントを埋入し、上部構造を製作した。製作物の写真（別冊午後 No. 13A）と装着時の口腔内写真（ミラー像）（別冊午後 No. 13B）を別に示す。製作物の特徴はどれか。2つ選べ。

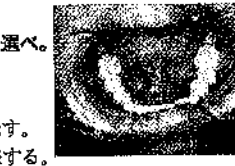


- a セメントで合着する。
- b 患者が取り外しできる。
- c スクリュー固定である。
- d アクセホールが存在する。

答え cd

- × a、○ c、○ d 写真でアクセホールが存在するので、スクレイド固定式である。セメント固定式ではない。
- × b インプラントの上部構造はスクレイド固定式でもセメント固定式でも患者は取り外しできない。

【問題 49】 19歳の男性。口腔内の腫脹を主訴として来院した。1週前から腫脹に気付いていたが、痛みがないため様子を見ていたところ、次第に増大してきたという。特記すべき既往歴はない。ラヌーラと診断された。初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 14）を別に示す。この疾患の特徴はどれか。2つ選べ。



- a 弾性軟である。
- b 内部に唾液が貯留している。
- c 境界不明瞭で浸潤性発育を示す。
- d 胎生期に迷入した上皮に由来する。

答え ab

- a ラヌーラ（ガマ腫）は弾性軟である。
- b ラヌーラ（ガマ腫）は粘液貯留嚢胞の1つなので、内部に唾液が貯留している。
- × c 境界不明瞭で浸潤性発育を示すのは、悪性腫瘍の特徴である。
- × d ラヌーラ（ガマ腫）は上皮のない嚢胞である。胎生期に迷入した上皮に由来するのは、頬皮嚢胞や頬表皮嚢胞の特徴である。

【問題 50】 三叉神経痛の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 片側性に生じる。
- b 嚙下が誘因となる。
- c 顔面に特定の圧痛点がみられる。
- d 電撃様疼痛が5分以上持続する。

答え ac

- a 40歳以上の女性に多くみられ、神経痛は片側性に生じる。
- × b 歯磨き、洗顔、髭剃りなどの刺激が誘因となる。
- c 顔面に特定の圧痛点（Valleixの3圧痛点：眼窩上孔、眼窩下孔、オトガイ孔）がみられる。
- × d 10秒程度の激しい発作性疼痛（電撃様疼痛）が生じる。

【問題 51】 口腔扁平苔癬の写真（別冊午後 No. 15）と病変の特徴に関する所見（別冊午後 No. 16）を別に示す。下線部で適切なものはどれか。2つ選べ。



- a ① b ②
- c ③ d ④

病変は、右側頬粘膜に生じた白斑であり、周囲の粘膜からやや隆起している。この線状の白斑は相互に連結して一連のレース状を呈するとともに、紫斑と潰瘍を伴っている。

答え ab

- a、○ b 口腔扁平苔癬は両側の頬粘膜にみられることが多く、周囲の粘膜からやや隆起した白斑を示し、この線状の白斑はレース状（網状）、びらん状、萎縮状を呈する。
- × c、× d 扁平苔癬は紫斑と潰瘍は伴わない。

【問題 52】 下顎骨の写真（別冊午後 No. 17）を別に示す。成長過程で吸収するのはどれか。1つ選べ。

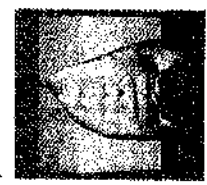


- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え a

- a ①は下顎枝前縁であり、骨吸収が生じる。
- × b ②はオトガイ部であり、骨添加が生じる。
- × c ③は下顎枝後縁であり、骨添加が生じる。
- × d ④は下顎頭であり、軟骨性成長が生じる。

【問題 53】 矯正歯科診断用の資料の写真（別冊午後 No. 18）を別に示す。この資料で分析できるのはどれか。2つ選べ。



- a オーバーバイト
- b 咬合平面の傾斜度
- c 上下顎骨の前後的位置関係
- d アーチレングスディスクレパンシー

答え ad

- a、○ d 写真の資料は平行模型であり、オーバーバイトやアーチレングスディスクレパンシーなどが分析できる。
- × b 平行模型は模型の基底面と咬合平面を平行になるよう製作するため、咬合平面の傾斜度は分析できない。
- × c 平行模型で上下顎歯列の咬合状態は判断できるが、上下顎骨の前後的位置関係は分析できない。

【問題 54】 矯正装置による上顎中切歯の移動様式を図に示す。この移動に用いるのはどれか。1つ選べ。

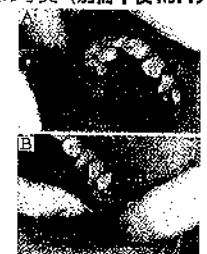


- a 咬合拳上板
- b アクチバートル
- c リングルアーチ
- d マルチブラケット装置

答え d

- × a 咬合拳上板は白歯の挺出や下顎前歯の圧下が生じる。
- × b アクチバートルでは誘導線により歯の傾斜移動が生じる。
- × c リングルアーチでは補助弾線により歯の傾斜移動が生じる。
- d 図で示された移動様式は歯体移動である。歯体移動に用いるのはマルチブラケット装置である。

【問題 55】 矯正装置製作のための前処置の写真（別冊午後 No. 19 A、B）を別に示す。これらの処置が必要なものはどれか。2つ選べ。

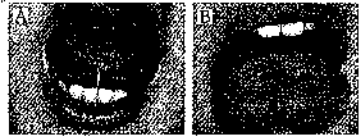


- a 舌側弧線装置
- b タングクリップ
- c ホーレーの保定装置
- d トゥースポジションナー

答え ab

- a、○ b 写真を見ると、歯間離隔や維持バンドの試置が行われている。舌側弧線装置やタングクリップは維持バンドが用いられるため、写真の前処置が必要となる。
- × c、× d ホーレーの保定装置やトゥースポジションナーは維持バンドを用いない。

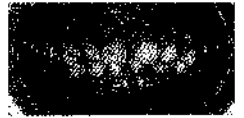
【問題 56】 3歳の男児。3歳児歯科健康診査で軟組織異常の指摘を受けて来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後No.20A、B)を別に示す。



- a 開口障害
- b 構音障害
- c 萌出障害
- d 唾液の分泌障害

これによって生じるのはどれか。1つ選べ。

【問題 57】 4歳の女児。転倒による上顎左側乳中切歯の脱落を主訴として来院した。欠損部に対して装置を製作することとした。装置装着時の口腔内写真(別冊午後No.21)を別に示す。



- a 審美性の改善
- b 鼻呼吸の促進
- c 咀嚼機能の回復
- d 後継歯の萌出促進

この装置の特徴はどれか。2つ選べ。

【問題 58】 70歳の女性。脳血管疾患の既往があり慢性肺炎を繰り返すため経管栄養を行うこととなった。経鼻経管が留置されている写真(別冊午後No.22)を別に示す。



- a 鼻腔
- b 咽頭
- c 食道
- d 胃

管の先端が留置されている部位はどれか。1つ選べ。

【問題 59】 75歳の男性。家族から「脳梗塞により意識疎通が難しく、右麻痺があり、自身での口腔清掃は困難で食物残渣が多量に停留している。」と相談を受けた。発語は困難であるが、認知機能には問題がないという。

- a 仰臥位での口腔清掃
- b 低発泡性歯磨剤の推奨
- c コミュニケーションボードの使用
- d 十分に水分を含ませたスポンジブラシでの口腔清掃

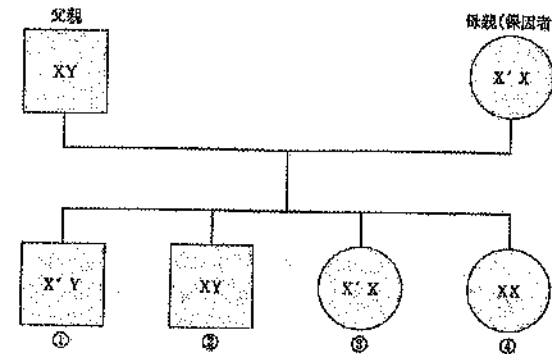
適切な助言はどれか。2つ選べ。

【問題 60】 パーキンソン病の四大症状に含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a 幻視
- b 強剛
- c 失認
- d 振戦

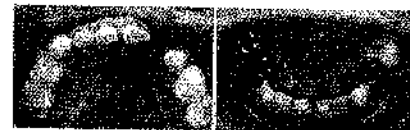
2つ選べ。

【問題 61】 デュシェンヌ型筋ジストロフィーの遺伝様式の模式図を示す。



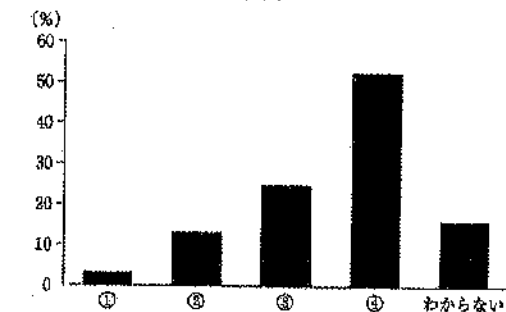
発症するのはどれか。1つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

【問題 62】 3歳の男児。異常構音があるため言語治療を受けている。口腔内写真(別冊午後No.23)を別に示す。



- a 器質性
- b 機能性
- c 聴覚性
- d 運動障害性

【問題 63】 令和4年歯科疾患実態調査における「フッ化物応用の経験の有無」の結果を図に示す。



④はどれか。1つ選べ。
ただし、①~④はa~dのいずれかに該当する。
a 経験無し b フッ化物洗口
c フッ化物塗布 d フッ化物配合歯磨剤の使用

【問題 64】 生活習慣と関連する疾患の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 飲酒 ——— 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)
- b 喫煙 ——— 歯周病
- c 食生活 ——— 脂質異常症
- d 運動習慣 ——— Sjögren 症候群

【問題 61】 デュシェンヌ型筋ジストロフィーの遺伝様式の模式図を示す。□が男性、○が女性、X'が保因染色体である。
【問題 62】 3歳の男児。異常構音があるため言語治療を受けている。口腔内写真(別冊午後No.23)を別に示す。考えられる構音障害の種類はどれか。1つ選べ。

【問題 63】 令和4年歯科疾患実態調査における「フッ化物応用の経験の有無」の結果を図に示す。
【問題 64】 生活習慣と関連する疾患の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

【問題 64】 生活習慣と関連する疾患の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

【問題 64】 生活習慣と関連する疾患の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

【問題 65】 歯周病が原因で抜去した歯の写真(別冊午後 No. 24)を別に示す。

矢印で示す付着物の成分で最も多いのはどれか。1つ選べ。

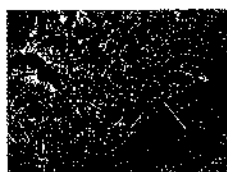
- a 赤血球
- b 歯体成分
- c 唾液タンパク質
- d リン酸カルシウム



【問題 66】 55歳の男性。ブラッシング時の歯肉からの出血と口臭を主訴として来院した。歯磨きは1日に1回行っているという。歯周組織検査実施後に歯周ポケットからブランクを採取し、位相差顕微鏡で観察した歯肉の写真(別冊午後 No. 25)を別に示す。

矢印で示す形態を呈するのはどれか。1つ選べ。

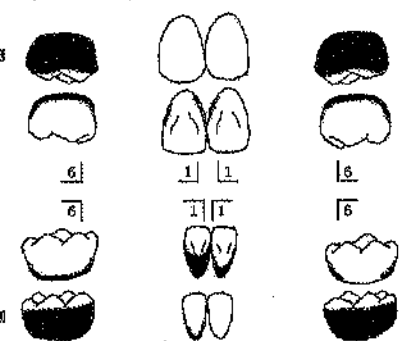
- a *Treponema denticola*
- b *Prevotella intermedia*
- c *Porphyromonas gingivalis*
- d *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*



【問題 67】 歯垢染色後の歯の模式図(別冊午後 No. 26)を別に示す。

PHPの値はどれか。1つ選べ。

- a 2.50
- b 3.00
- c 3.17
- d 4.33



【問題 68】 67歳の女性。下顎右側第一大臼歯のブラッシング時の出血を主訴として来院した。歯周組織検査の結果の一部を図に示す。

舌側	アタッチメントレベル(mm)	3	4	5
	PPD(mm)	⑤	⑤	④
歯 齦 溝		46		
頬側	PPD(mm)	④	⑤	⑤
	アタッチメントレベル(mm)	6	7	7
動揺度(Millerの分類)		2		
根分岐部(Lindhe & Nymanの分類)		2		

○印:ブローピング時の出血

歯と歯周組織の状態が正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯槽骨吸収を認める。
- b 歯が垂直的に動揺する。
- c 頬側に歯肉退縮を認める。
- d ブロープが根分岐部を貫通する。

【問題 69】 58歳の女性。歯石除去を希望して来院した。ペースメーカーを装着しているという。歯科医師から歯石除去の指示を受けた。口腔内写真(別冊午後 No. 27)を別に示す。

【問題 69】 58歳の女性。歯石除去を希望して来院した。ペースメーカーを装着しているという。歯科医師から歯石除去の指示を受けた。口腔内写真(別冊午後 No. 27)を別に示す。

- a 超音波ブラシ
- b 超音波スケーラー
- c Nd:YAGレーザー
- d シックルタイプスケーラー



【問題 70】 歯周組織検査項目とその状態を表に示す。歯周基本治療後、SPTへ移行するために求められる条件はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

【問題 70】 歯周組織検査項目とその状態を表に示す。歯周基本治療後、SPTへ移行するために求められる条件はどれか。1つ選べ。

① 歯周ポケット深さ: 3mm以下
② BOP: なし
③ 歯の動揺(Millerの分類): 1度以下
④ 根分岐部病変(Lindhe & Nymanの分類): なし

【問題 71】 グレーシータイプキュレットのシャープニング操作で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a スケーラーは軸筆状変法で把持する。
- b カuttingエッジの形態を保持する。
- c 第1シャングを12時の方向に設定する。
- d 偶数番号は刃部の先端を術者と反対に向ける。

【問題 69】 58歳の女性。歯石除去を希望して来院した。ペースメーカーを装着しているという。歯科医師から歯石除去の指示を受けた。口腔内写真(別冊午後 No. 27)を別に示す。

- a, c 音波歯ブラシやNd:YAGレーザーは歯石除去には使用しない。
- b 超音波スケーラーは歯石除去に使用するが、ペースメーカー装着者には使用しない。
- d 写真を見ると下顎前歯舌側に歯肉縁上歯石が付着している。歯石除去にシックルタイプスケーラーを使用するのは適切である。

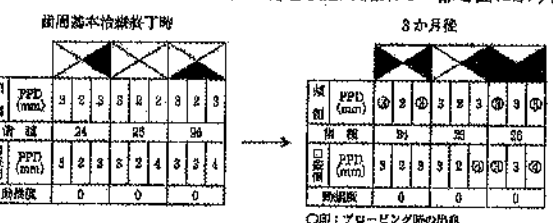
【問題 70】 歯周組織検査項目とその状態を表に示す。歯周基本治療後、SPTへ移行するために求められる条件はどれか。1つ選べ。

- a, b, c, d 再評価の結果、歯周組織のほとんどの部分は健康を回復したが、一部分に病変が休止しているとみなされるブローピング時の出血を認めない4mm以上の歯周ポケット、根分岐部病変、歯の動揺などが認められる状態を「病状安定」とし、この状態でSPTへ移行する。したがって、SPTへ移行するために求められる条件は②である。

【問題 71】 グレーシータイプキュレットのシャープニング操作で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a スケーラーを執筆状変法で把持するのはスケーリング操作である。シャープニング操作では掌握状に把持する。
- b カuttingエッジの形態を保持する。
- c 第1シャングを12時の方向に設定するのはシックルタイプスケーラーである。グレーシータイプキュレットではフェイスを床面と平行に設定すると、第1シャングは11時の方向となる。
- d 偶数番号のグレーシータイプキュレットは刃部の先端を術者と反対に向けてシャープニング操作を行う。奇数番号では刃部の先端を術者の方向に向ける。

【問題 72】 45歳の男性。慢性歯周炎と診断された。歯周基本治療を終え、3か月後に来院した。歯周基本治療終了時と来院時の歯周組織検査およびブランクの付着状態の結果の一部を図に示す。



来院時に実施するのはどれか。2つ選べ。

- a PTC
- b 咬合調整
- c 抗菌薬の投与
- d 口腔衛生指導

【問題 72】 45歳の男性。慢性歯周炎と診断された。歯周基本治療を終え、3か月後に来院した。歯周基本治療終了時と来院時の歯周組織検査およびブランクの付着状態の結果の一部を図に示す。

- a 歯周組織検査の結果から、歯周基本治療終了時と比べて来院時にブローピング時の出血がみられるため、PTCを行うとよい。
- b 動揺度は0度であり、咬合調整を行う根拠に乏しい。
- c 急性症状はなく、抗菌薬の投与を行う根拠に乏しい。
- d ブランクの付着状態の結果から、歯周基本治療終了時と比べて来院時にブランクの付着がみられるため、口腔衛生指導を行うとよい。

【問題 73】 3歳の男児。う蝕予防を目的とした定期歯科健康診査のため母親と来院した。診察の結果、歯科医師からう蝕予防処置計画を立案するよう指示を受けた。う蝕のリスク検査結果の一部(別冊午後 No. 28)と口腔内写真(別冊午後 No. 29)を別に示す。

- a フッ化物歯面塗布
- b フッ化物洗口の指導
- c フッ化ジアンミン銀塗布
- d 1,450ppmフッ化物配合歯磨剤の推奨



唾液分泌速度(唾液検査)	1.2 mL/min
唾液細菌数	高い
ミュータンスレンサ球菌数	< 10 ⁶ CFU/mL

【問題 73】 3歳の男児。う蝕予防を目的とした定期歯科健康診査のため母親と来院した。診察の結果、歯科医師からう蝕予防処置計画を立案するよう指示を受けた。う蝕のリスク検査結果の一部(別冊午後 No. 28)と口腔内写真(別冊午後 No. 29)を別に示す。

- a う蝕のリスク検査結果をみると唾液分泌速度や唾液細菌数は良好であり、ミュータンスレンサ球菌数はDentocult-SMでClass Iである。う蝕予防処置計画としてフッ化物歯面塗布を立案するのは適切である。
- b フッ化物洗口は洗口可能な4歳以上に適している。
- c フッ化ジアンミン銀塗布はう蝕進行抑制として行なわれる。口腔内写真からう蝕はみられない。
- d 1,450ppmフッ化物配合歯磨剤は6歳以上に推奨される。3歳児では900~1,000ppmが推奨される。

【問題 74】 う蝕のリスク検査で、唾液中の細菌の酸産生能をエナメル質粉末の溶解量で評価するのはどれか。1つ選べ。

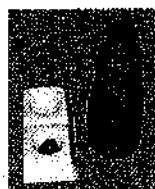
a Wach test
b Snyder test
c Fosdick test
d Hardley test

答え c
× a Wach test は唾液中の細菌の酸産生能を中和した NaOH 量で評価する。
× b Snyder test は唾液中の細菌の酸産生能を pH で評価する。
○ c Fosdick test は唾液中の細菌の酸産生能をエナメル質粉末の溶解量で評価する。
× d Hardley test は唾液中の乳酸桿菌数を測定する。

次の文を読み、【問題 75】、【問題 76】に答えよ。
13歳の女子。う蝕の精査を希望して来院した。歯科医師から萌出が完了した下顎右側第二大臼歯の小窩裂溝填塞の指示を受けた。使用する器材の一部の写真(別冊午後 No. 30)を別に示す。

【問題 75】 使用法はどれか。2つ選べ。

a 3分間処理する。
b 歯面全体に塗布する。
c 塗布後は十分に水洗を行う。
d 処理後に歯面の白濁を確認する。



答え c d
× a、○ c、○ d 写真の器材は酸処理に用いるリン酸である。リン酸で15~60秒間処理し、リン酸処理後に十分に水洗を行う。乾燥後に歯面が白濁していることを確認する。
× b リン酸の塗布は小窩裂溝に沿った必要最小限に行う。

【問題 76】 これを使用する小窩裂溝填塞法の特徴はどれか。1つ選べ。

a 耐摩耗性に優れる。
b 防湿が不要である。
c 粉末と液を練和する。
d 半萌出歯が適応である。

答え a
○ a リン酸を使用する小窩裂溝填塞法はレジン系充填材である。セメント系と比較してレジン系充填材は耐摩耗性に優れる。
× b、× d レジン系充填材を用いた小窩裂溝填塞法ではラバーダム防湿が必要である。ラバーダム防湿ができない半萌出歯ではセメント系充填材が適応である。
× c 粉末と液を練和するのはセメント系充填材である。

【問題 77】 10歳の女児。う蝕治療後のメンテナンスのために来院した。歯科医師からう蝕再発予防のために2%フッ化ナトリウム溶液を塗布するよう指示を受けた。適切な対応はどれか。2つ選べ。

a 3~4分間歯面に塗布する。
b ガラスの容器に薬液を用意する。
c 溜まった唾液を飲み込むよう伝える。
d 2週間以内に4回の塗布が必要なことを説明する。

答え a d
○ a 2%フッ化ナトリウム溶液を用いたフッ化物歯面塗布を行う場合、溶液を3~4分間歯面に繰り返し塗布する。
× b フッ化物はガラスの容器を腐食する恐れがあるため、プラスチック容器などに薬液を用意する。
× c 塗布中に溜まった唾液は排唾管で除去し、塗布後は唾液を吐き出すよう伝える。
○ d 2%フッ化ナトリウム溶液を用いたフッ化物歯面塗布を行う場合、2週間以内に4回の塗布を1単位とし、年に1~2単位行うことを説明する。

【問題 78】 82歳の女性。大腿骨頸部骨折のため居宅で療養中である。口腔内にプラークの付着が多く、口臭が気になると介護支援専門員から口腔衛生管理を依頼された。本人に口腔清掃の実地指導を行った際、歯ブラシを持ったまま鏡の前で呆然としていることが複数回確認された。実施すべき検査はどれか。1つ選べ。

a MMSE
b MWST
c GOHAI
d MNA®-SF

答え a
○ a MMSE (Mini Mental State Examination) は米国で開発された認知症のスクリーニング検査である。見当識、単語の記憶、計算、書字、図形模写などの項目からなる。本人に口腔清掃の実地指導を行った際、歯ブラシを持ったまま鏡の前で呆然としていることが複数回確認されたことから、認知症のスクリーニング検査を実施すべきである。
× b 改訂水飲みテスト (MWST: Modified Water Swallowing Test) は、摂食嚥下障害のスクリーニング検査である。3mLの冷水を嚥下させ、嚥下運動およびプロフィールから、咽頭期の障害を評価する方法である。摂食嚥下障害を疑う所見はないので、実施する必要はない。
× c GOHAI (General Oral Health Assessment Index) は、口腔の健康に関連する QOL (生活の質) を評価するための指標である。口腔関連 QOL の低下を疑う所見はないので、実施する必要はない。
× d MNA®-SF (Mini Nutritional Assessment-Short Form) は、高齢者の栄養状態を簡便に評価するためのスクリーニング検査である。栄養状態の不良を疑う所見はないので、実施する必要はない。

【問題 79】 安静時と摂食嚥下関連器官の運動検査時の写真(別冊午後 No. 31A、B)を別に示す。この検査で、Bの動きができない場合に生じるのはどれか。2つ選べ。

a 食べこぼし
b 嚥出能の低下
c 咬合力の低下
d 発音の不明瞭



答え a d
○ a、○ d Bの動きができないということは口唇閉鎖機能低下がみられる場合で、食べこぼしや発音の不明瞭が生じる。
× b 嚥出能とは食道からの異物や分泌物(痰や粘液など)を除去する能力のことである。呼吸筋の機能低下があると嚥出能の低下がみられる。
× c 咀嚼筋の機能低下があると咬合力の低下がみられる。

【問題 80】 A市の保健センターで、半年間幼児とその保護者を対象とした「歯の健康教室」を実施した。終了後の報告書の一部を図に示す。

「歯の健康教室」は月に1回、計6回開催した。教室を担当した歯科衛生士の人数は合計6人であった。1回30人、計180人程度の参加者数を目標として、多くの人に参加してもらえようという実質的な内容にした。「歯の健康教室」開催前と比較して、幼児のう蝕罹患率が減少した。

アウトプット評価はどれか。1つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④

答え a
○ a 「月に1回、計6回開催」は目的、目標達成のために行われる活動の結果に対する評価なのでアウトプット評価である。
× b 「教室を担当した歯科衛生士の人数は合計6人」は活動を実施するための仕組みや体制に関する評価なのでストラクチャー評価である。
× c 「1回30人、計180人程度の参加者数を目標」としたのは、活動の目的、目標達成に向けた過程や活動状況に対する評価なのでプロセス評価である。
× d 「歯の健康教室開催前と比較して、幼児のう蝕罹患率が減少」したのは、活動の目的、目標達成度、成果の数値目標に対する評価なのでアウトカム評価である。

【問題 81】 25歳の女性。歯石が気になることを主訴として来院した。初診時の業務記録の一部を図に示す。

口腔内状況: 要治療なし
下顎前歯部舌側歯肉縁上歯石あり
O'LearyのPCR 60%
口腔衛生習慣: 歯ブラシのみ使用で1日に2回実施
歯科医師の指示: デンタルフロスの使用方法指導
下顎前歯部スケーリング

SOAPの項目と内容の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

a S —— 下顎前歯部舌側歯肉縁上歯石あり
b O —— デンタルフロスの使用方法指導
c A —— O'LearyのPCR60%
d P —— 下顎前歯部スケーリング

答え d
× a 「下顎前歯部舌側歯肉縁上歯石あり」は、客観的情報 (O: Objective data) である。
× b 「デンタルフロスの使用方法指導」は、計画 (P: Plan) である。
× c 「O'LearyのPCR60%」は、客観的情報 (O: Objective data) である。
○ d 「下顎前歯部スケーリング」は、計画 (P: Plan) である。

【問題 82】 50歳の男性。特定健康診査を受診後に、特定保健指導の「積極的支援」が必要であると判断された。喫煙経験はないという。特定健康診査の結果の一部を表に示す。

「積極的支援」の根拠となった検査項目はどれか。2つ選べ。

検査項目	結果
BMI	27
腹囲	90 cm
空腹時血糖値	105 mg/dL
血圧	140/83 mmHg
中性脂肪値	190 mg/dL

答え b d (厚労省発表: 採点対象から除外する。)
理由: 問題としては適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。特定保健指導の「積極的支援」は、健診結果などで生活習慣病のリスクが高い(メタボリックシンドローム)と判断された人が対象である。
・腹囲が男性 ≥ 85 cm、女性 ≥ 90 cmの場合、以下の追加リスクが2つ以上で「積極的支援」の対象となる。
追加リスク
①血圧 収縮期血圧 130mmHg以上
または拡張期血圧 85mmHg以上
②血中脂質 中性脂肪 150mg/dL以上
またはHDLコレステロール 40mg/dL未満
③空腹時血糖値 100mg/dL以上 またはHbA1c 5.6%以上
④喫煙歴あり (①~③のリスクが1つ以上の場合のみカウント)
× a 腹囲が男性 < 85 cm、女性 < 90 かつBMI25以上の場合、追加リスクが3つ以上で「積極的支援」の対象となる。腹囲 85cm以上の男性(腹囲 90cm)なので、BMIは「積極的支援」の根拠となる検査項目ではない。
○ b 収縮期血圧が130 mmHg以上(血圧 140/83mmHg)なので、「積極的支援」の根拠となる検査項目である。
× c 中性脂肪値は 150mg/dL未満(中性脂肪値 190mg/dL)なので、「積極的支援」の根拠となる検査項目ではない。
○ d 空腹時血糖値は 100mg/dL以上(空腹時血糖値 105mg/dL)なので、「積極的支援」の根拠となる検査項目である。

【問題 83】 B 県歯科衛生士会に小学 6 年生 60 人を対象とした健康教育の依頼があった。対象児童の歯・口腔の定期歯科健康診断の結果の一部を表に示す。

判定項目	人数
C	0
CO	2
G	8
GO	15
歯垢 1	15
歯垢 2	18

優先して実施する講話内容はどれか。2つ選べ。
 a 噛むことの効果
 b 歯口清掃の方法
 c フッ化物の応用
 d 歯肉炎の成り立ち

答え bd

- × a 歯・口腔の定期歯科健康診断の結果では、咀嚼（噛むこと）に関する情報はないので、噛むことの効果について講話をする必要はない。
- b 「歯垢 1」、「歯垢 2」に該当する人数が多いので、歯口清掃の方法について講話をすべきである。
- × c 「C」、「CO」に該当する人数は少ないので、フッ化物の応用について講話をする必要はない。
- d 「G」、「GO」に該当する人数が多いので、歯肉炎の成り立ちについて講話をすべきである。

【問題 84】 53 歳の女性。乳がん治療のため 20 日前から外来で抗がん剤治療を受けている。5 日前から食事やブラッシングで痛みが生じることを主訴として来院した。歯科医師から歯科保健指導の指示があった。口腔内写真（別冊午後 No. 32）を別に示す。



適切な指導内容はどれか。2つ選べ。
 a ジェル状の保湿剤を塗布しましょう。
 b 研磨剤無配合の歯磨剤を使いましょう。
 c ヘッドの大きい歯ブラシを使いましょう。
 d ポピドンヨードで頻回にうがいしましょう。

答え ab

- a 写真で口腔粘膜炎が認められ、食事やブラッシングで痛みが生じていることから、ジェル状の保湿剤を塗布するように指導する。
- b 発泡剤・研磨剤無配合の低刺激性の歯磨剤を使ってブラッシングするように指導する。
- × c ヘッドの小さい歯ブラシを使うように指導する。
- × d 刺激性の少ない洗口剤で頻回にうがいするように指導する。

【問題 85】 76 歳の男性。2 日前に脳梗塞を発症し、急性期病棟に入院中である。口腔清掃が自立していないため、主治医から歯科に口腔衛生管理の依頼があった。摂食時の口腔内写真（別冊午後 No. 33）を別に示す。



舌の異常所見はどれか。1つ選べ。
 a 萎縮
 b 潰瘍
 c 偏位
 d びらん

答え c

- × a、× b、○ c、× d 写真から萎縮、潰瘍、びらんといった舌粘膜の異常所見は認められない。舌の左側への偏位が認められ、脳梗塞の後遺症と考えられる。

【問題 86】 85 歳の男性。緩和ケア病棟の医師から口腔衛生管理を依頼された。主訴に口腔内の痛みがある。口腔内写真（別冊午後 No. 34）を別に示す。



観察できるのはどれか。1つ選べ。
 a 潰瘍
 b 水泡
 c 排膿
 d 白苔

答え d

- × a、× b、× c、○ d 写真では、舌や頬粘膜に口腔カンジダ症と考えられる白苔が認められる。潰瘍、水泡、排膿などは認められない。

【問題 87】 幼稚園の年少クラスに対する 20 分間の健康教育を依頼された。

適切なものはどれか。2つ選べ。
 a 講話を主体とする。
 b グループ討論を組み込む。
 c 動きがある媒体を取り入れる。
 d 教育内容を保護者と共有する。

答え cd

- × a 幼稚園の年少クラスを対象とした健康教育なので、20 分間の講話は適切ではない。
- × b 幼稚園の年少クラスを対象とした健康教育なので、グループ討論は適切ではない。
- c 人形劇など動きがある媒体を取り入れるのは適切である。
- d 幼稚園の年少クラスのため、教育内容を保護者と共有するのは適切である。

【問題 88】 スクロースと比較してエリスリトールの歯垢に対する作用で低下するのはどれか。2つ選べ。

a pH
 b 緩衝能
 c 形成量
 d 付着性

答え cd

- × a、× b、○ c、○ d エリスリトールは糖アルコールの 1 つで、代用甘味料として用いられる。スクロース（ショ糖）と比較して、歯垢形成量と歯垢付着性を低下させ、う蝕予防効果を示す。

【問題 89】 脳性麻痺のある患児の摂食嚥下指導で直接訓練を行うことにした。訓練に使用したスプーンの写真（別冊午後 No. 35）を別に示す。



このスプーンの使用で指導できるのはどれか。2つ選べ。
 a 食物の形態
 b 口唇での捕食の誘導
 c 1 回に与える食物の量
 d 食物を口に運ぶペース

答え bc

- a 食物の形態はスプーン先端の形状で誘導できるが、このスプーンでは誘導できない。
- b スプーン先端は熱可塑性エラストマー製で弾力性があり、「位置決めストッパー」によって口腔の奥まで挿入できないようになっている。このスプーンで口唇での捕食の誘導を指導できる。
- c 浅いスプーンのため 1 回に与える食物の適量を指導できる。
- × d 食物を口に運ぶペースはスプーンで指導するものではない。

【問題 90】 83 歳の女性。Alzheimer（アルツハイマー）型認知症と診断され、要介護度 3 で特別養護老人ホームに入居している。ミールラウンドに参加したところ、食事への関心が低く、食べ疲れにより徐々に食事のペースが落ちていることがわかった。3 か月で体重が 3 kg 減少している。むせや誤嚥はみられず、咀嚼能力に問題はなかった。

食生活指導で適切なものはどれか。2つ選べ。
 a 好物の食材を提供しましょう。
 b 賑やかな環境を作りましょう。
 c 高カロリー食品を取り入れましょう。
 d 料理と食器のコントラストを統一しましょう。

答え ac

- a 食事への関心が低くなっているため、好物の食材を提供し、食事への興味を抱かせることは適切である。
- × b 賑やかな環境より静かな環境を作るほうが適切である。
- c 3 か月で体重が 3 kg 減少していることから、高カロリー食品を取り入れるのは適切である。
- × d 料理と食器のコントラストは、食事への関心度、食べ疲れ、体重減少などとは無関係である。

【問題 91】 8 歳の女児。定期歯科健康診査で来院した。口腔内写真（別冊午後 No. 36）を別に示す。



口腔内でみられるのはどれか。2つ選べ。
 a 上唇小帯の異常
 b 乳白歯部の咬耗
 c 前歯部の交叉咬合
 d Hellman の歯齡 III B 期

答え bc

- × a 上唇小帯の異常はみられない。
- b 上下左右の乳白歯部に咬耗がみられる。
- c 上下顎右側中切歯に交叉咬合がみられる。
- × d Hellman の歯齡 III B 期（側方歯群交換期）ではなく、III A 期（第一大臼歯萌出完了あるいは前歯萌出中または萌出完了期）である。

【問題 92】 歯科用ユニットのメンテナンスで、1 日の診療前に行うのはどれか。1つ選べ。

a パキューム管路の洗浄
 b ハンドピース類の注油
 c パキュームフィルターの交換
 d ハンドピース類のフラッシング

答え d

- × a パキューム管路の洗浄は 1 日の診療後に行う。
- × b ハンドピース類の注油は、毎回の使用後に行うことが推奨されている。これにより内部の摩擦を防ぎ、器具の寿命を延ばすことができる。
- × c パキュームフィルターの交換は 1 日の診療後に行う。
- d フラッシングとは患者への感染リスクとなるユニット内部に滞留する水を排出させることである。ハンドピース類のフラッシングは 1 日の診療前に行う。

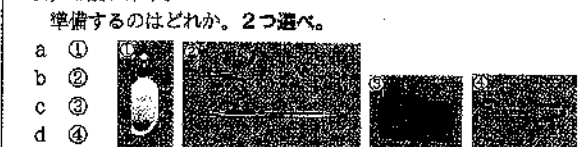
【問題 93】 普通石膏の硬化時間を短縮するために添加されるのはどれか。2つ選べ。

a ホウ砂
 b クエン酸
 c 硫酸カリウム
 d 塩化ナトリウム

答え cd

- × a、× b ホウ砂とクエン酸は石膏の硬化遅延剤である。
- c、○ d 石膏の硬化時間を短縮するために添加されるのは、硫酸カリウムや塩化ナトリウムである。

【問題 94】 88 歳の男性。全部床義歯製作のため、個人トレーを用いて筋圧形成を行うことになった。器材の写真（別冊午後 No. 37）を別に示す。



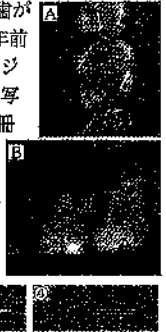
準備するのはどれか。2つ選べ。
 a ①
 b ②
 c ③
 d ④

答え ad

- a ①はアルコールトーチである。コンパウンドを加熱するのに用いる。
- × b ②は歯科用ワックス形成器（PK トーマス）である。ワックスアップするのに用いる。
- × c ③はパラフィンワックスである。咬合堤の製作に用いる。
- d ④はイソコンパウンド（上：ピンク色）とベリコンパウンド（下：緑色）である。アルコールトーチ（あるいはガスバーナー）で加熱軟化したコンパウンドを個人トレーの辺縁部に盛り付けて、筋圧形成を行う。

【問題 95】 60歳の男性。上顎左側第一大臼歯が水にしみることを主訴として来院した。10年前に修復処置を受けたという。コンポジットレジン修復を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.38A)、ゴックス線画像(別冊午後No.38B)および回転切削器具の写真(別冊午後No.38C)を別に示す。
最初に使用するものはどれか。1つ選べ。


a ① b ② c ③ d ④



- 答え a
- a ①はFG用タンゲステンカーバイドバー(切削用)である。最初にこのバーを用いて、10年前に修復したコンポジットレジンと歯質を削除する。
 - ×b ②はCA用スチール製ラウンドバーである。軟化象牙質の除去に用いる。
 - ×c ③はFG用ダイヤモンドポイント(仕上げ用)である。充填後のコンポジットレジンの形態修正や研磨に用いる。
 - ×d ④はCA用スチール製フィッシャーバーである。テーパ型(尖形溝型)であり、高洞の形成や修正などに用いる。

【問題 96】 22歳の男性。上顎左側小臼歯部の一過性の冷水痛を主訴として来院した。診察の結果、間接修復を行うことになった。完成した修復物の写真(別冊午後No.39)を別に示す。
接着前の修復物を行う処理はどれか。2つ選べ。


a シラン処理
b サンドブラスト処理
c ポリカルボン酸処理
d 硫黄含有プライマー処理



- 答え ab
- a シラン処理とは、レジンやセラミックに行われる表面処理のことである。γ-MPTSはシラン処理で用いられる処理材(シランカップリング剤)の成分である。完成した修復物のレジンインレー(あるいはセラミックインレー)は接着性レジンセメントで接着するため、シラン処理を行う。
 - b サンドブラスト処理によりインレー体内面の汚染物を除去し、微細凹凸構造を付与する。その結果、接着性レジンセメントによる接着力が向上し、インレー体の保持力が向上する。
 - ×c ポリカルボン酸はガラスアイオノマーセメントの液体成分である。
 - ×d 硫黄含有プライマーとは、貴金属用メタルプライマーのことである。レジンと貴金属を接着させる機能性モノマーである。

【問題 97】 25歳の女性。歯の黄ばみを主訴として来院した。診察の結果、漂白処置を行うことになった。使用する器材の写真(別冊午後No.40A、B)を別に示す。
患者に対する説明で適切なのはどれか。2つ選べ。


a 漂白は週1回を目安に行ってください。
b トレーは食事以外、終日装着してください。
c 硝酸カリウム入り歯磨剤の使用を推奨します。
d 漂白剤はトレーの歯の部分半分埋まるくらい入れてください。



- 答え cd
- 写真Aはホームホワイトニングで使用するトレー(マウスピース)で、写真Bは漂白剤である。
 - ×a、×b 漂白は1日あたり約2時間、約2週間程度の処置期間を目安とする。
 - c 生活歯の漂白では知覚過敏症が生じやすいため、知覚過敏緩和作用のある硝酸カリウム入り歯磨剤の使用を推奨する。
 - d 漂白剤はトレーの歯の部分半分埋まるくらい注入して、トレーを装着してもらう。

【問題 98】 75歳の男性。義歯使用時に嘔むと痛いということを主訴として来院した。検査時の写真(別冊午後No.41)を別に示す。
この検査の目的はどれか。1つ選べ。

a 咬合高径の確認
b 咀嚼能力の測定
c 義歯床粘膜面の適合
d 義歯床辺縁形態の決定



- 答え c
- ×a、×b、○c、×d 義歯使用時に嘔むと痛いということを主訴として来院しているため、適合試験材を用いて義歯床粘膜面の適合状態を検査しているところである。

【問題 99】 歯科医師から下顎左側第一小臼歯のオールセラミッククラウンのプロビジョナルレストレーションを製作するよう指示を受けた。支台歯形成前の印象体を使用して製作する場合の手順を図に示す。

① 印象体の内面に分離材を塗布したのち、常温重合レジンで印象体に流し込む。
② 位置がずれないように口腔内に印象体を戻し圧着する。レジンの初硬化が始まったらトレーを撤去し、レジン層を印象体から外し、対象歯に被覆着脱しアンダーカットに入り込んでいないことを確認し、硬化を待つ。形態修正、咬合調整し、酸化亜鉛ユーージノールセメントで仮着する。

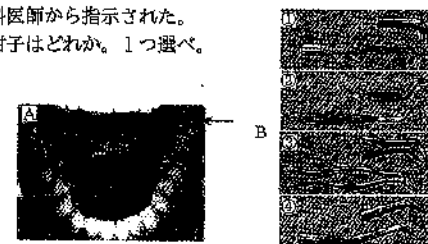
下線部分で正しいのはどれか。2つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④

- 答え bc
- ×a 印象体の内面ではなく、支台歯に分離材を塗布する。
 - b 粉と液を混和した常温重合レジンで印象体に流し込む。
 - c 常温重合レジンで初期硬化が始まったらトレーを撤去する。完全硬化まで放置するとレジンが支台歯から撤去できなくなるので注意が必要である。
 - ×d オールセラミッククラウンのプロビジョナルレストレーションのため、酸化亜鉛ユーージノールセメントではなく非ユーージノール系セメントで仮着する。

【問題 100】 25歳の女性。下顎左側大臼歯部の痛みと咀嚼困難を主訴として来院した。口腔内写真(別冊午後No.42A)および歯子の写真(別冊午後No.42B)を別に示す。矢印で示す歯の抜去の準備を歯科医師から指示された。
準備する鉗子はどれか。1つ選べ。


a ①
b ②
c ③
d ④



- 答え a
- a ①は下顎大臼歯用の抜歯鉗子である。矢印は下顎智歯なので、①の下顎大臼歯用の抜歯鉗子を準備する。
 - ×b ②は上顎大臼歯用の抜歯鉗子である。
 - ×c ③は下顎前歯用の抜歯鉗子である。
 - ×d ④は残根用の抜歯鉗子である。

【問題 101】 矯正歯科用器具の写真(別冊午後No.43)を別に示す。
リングルアーチの主線を屈曲するのはどれか。1つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④



- 答え c
- ×a ①はブラケットリムービングプライヤーである。接着してあるブラケットを歯面から撤去するのに用いる。
 - ×b ②はパードピークプライヤーである。主にエッジワイズ法で使用するラウンドワイヤーを屈曲するのに用いる。
 - c ③はヤングプライヤーである。リングルアーチの主線など比較的太いワイヤーを屈曲するのに用いる。
 - ×d ④はジャラバックプライヤーである。細いワイヤーを屈曲するのに用いる。

【問題 102】 手足口病の感染経路はどれか。2つ選べ。

a 空気感染
b 垂直感染
c 接触感染
d 飛沫感染

- 答え cd
- ×a 空気感染するのは、結核、麻疹、水痘である。
 - ×b 垂直感染するのは、AIDS、B型肝炎、C型肝炎、ヘルペス、梅毒、風疹、成人T細胞白血病などである。
 - c、○d 手足口病はエンテロウイルス(コクサッキーウイルスA16やエンテロウイルス71)による感染が原因で、感染経路は接触感染や飛沫感染である。


【問題 103】 12歳の女児。下顎右側第一大臼歯の冷水痛を主訴として保護者と来院した。昨夜、アイスクリームを食べた後に痛くなったという。診察の結果、歯髄鎮静療法を行うことになった。
使用するものはどれか。1つ選べ。

a MTAセメント
b フェノールカンフル
c 水酸化カルシウム製剤
d タンニン・フッ化物配合ポリカルボキシレートセメント

- 答え b
- ×a 直接覆髄法では、MTAセメントや水酸化カルシウム製剤を用いる。
 - b 歯髄鎮静療法で用いる薬剤には、フェノールカンフル、ユーージノール、グアヤコールなどがある。
 - ×c 水酸化カルシウム製剤は、間接覆髄法、暫間的間接覆髄法、直接覆髄法、生活歯髄切除法などで用いる。
 - ×d 暫間的間接覆髄法では、水酸化カルシウム製剤とタンニン・フッ化物配合ポリカルボキシレートセメントを用いる。

【問題 104】 73歳の男性。下顎両側犬歯の着色を主訴として来院した。根面う蝕と診断され、う蝕の処置が行われることになった。口呼吸があることから、簡易防湿を行うよう歯科医師から指示を受けた。初診時の口腔内写真(別冊午後No.44)を別に示す。
使用が望ましいのはどれか。1つ選べ。


a コンポジットレジン
b リン酸亜鉛セメント
c ポリカルボキシレートセメント
d 従来型ガラスアイオノマーセメント



- 答え d
- ×a コンポジットレジンで修復する場合は、簡易防湿ではなく、ラバーダム防湿を行うのが望ましい。
 - ×b リン酸亜鉛セメントは合着用セメントである。最近ほとんど使用されていない。
 - ×c ポリカルボキシレートセメントは合着用、仮着用として用いられる。
 - d 簡易防湿下で成形修復する場合は、コンポジットレジンよりもガラスアイオノマーセメントを使用するのが望ましい。さらに、根面う蝕に対する処置のため、フッ素徐放性による二次う蝕予防に優れた従来型ガラスアイオノマーセメントを使用する。

【問題 105】 乳児の人形を使った一次救命処置における胸骨圧迫例の写真(別冊午後No.45)を別に示す。
正しいのはどれか。2つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④



- 答え ad
- a 一次救命処置における乳児の胸骨圧迫は片手の二本指で行う。①は第二指と第三指で行っている。
 - ×b 小児(6歳以下)の場合は、②のように片手で圧迫する。
 - ×c 成人の場合は、③のように両手で圧迫する。
 - d 乳児の場合は、④のように両手の親指だけで圧迫する方法もある。

【問題 106】 75歳の男性。嚥下困難を主訴として来院した。6か月前に舌癌と診断され、舌全摘術と皮弁再建術を受けている。術後、舌機能低下による口腔期の送り込み障害を代償する装置を製作し装着している。姿勢や摂食動作に問題は無い。口腔内写真(別冊午後No.46)を別に示す。



経口摂取を推進するうえで連携すべき職種はどれか。2つ選べ。

- a 薬剤師
- b 管理栄養士
- c 言語聴覚士
- d 臨床検査技師

答え bc

- × a 薬剤師は服薬管理する上で連携すべき職種であるが、嚥下困難を訴えている患者の経口摂取を推進する上で連携すべき職種ではない。
- b、○ c 管理栄養士と言語聴覚士は、嚥下困難を訴えている患者の経口摂取を推進する上で連携すべき職種である。
- × d 臨床検査技師は検査を行う場合に連携すべき職種であるが、嚥下困難を訴えている患者の経口摂取を推進する上で連携すべき職種ではない。

【問題 107】 口腔機能の訓練の写真(別冊午後No.47)を別に示す。この訓練で改善されるのはどれか。1つ選べ。



- a 嚥出力
- b 口腔内圧
- c 食べこぼし
- d 嚥下反射の惹起

答え b

- × a 嚥出力とは気道からの異物や分泌物(痰や粘液など)を除去する能力のことである。嚥出力は、呼吸訓練で改善する。
- b 写真は舌抵抗訓練を行っているところである。この訓練で口腔内圧が改善する。
- × c 食べこぼしは、口唇閉鎖訓練で改善する。
- × d 嚥下反射の惹起は、のどのアイスマッサージ、冷圧刺激法で改善する。

【問題 108】 73歳の男性。歯科健康診査のため来院した。1年前に脳血管疾患を発症し、後遺症による構音障害で発音がしづらいう。歯科医師から構音訓練の指示を受けた。

「アー」と繰り返し発音することにより強化されるのはどれか。1つ選べ。

- a 口唇
- b 舌後方
- c 舌前方
- d 軟口蓋

答え d

- × a、× b、× c、○ d 「アー」と繰り返し発音すると、軟口蓋筋が何回も収縮し、軟口蓋の動きが強化される。軟口蓋筋は、嚥下や発声、口腔と鼻腔の分離などに関与し、特に鼻音を防ぐために重要である。

【問題 109】 4歳の男児。日常の歯磨きがうまくできないことを主訴として保護者と来院した。3歳児健康診査では対人関係、コミュニケーションの遅れや歯の汚れを指摘されたという。評価後に指導した訓練の写真(別冊午後No.48)を別に示す。



保護者への指導内容はどれか。2つ選べ。

- a 毎日実施してください。
- b 徐々に慣れさせてください。
- c 歯磨きのあとに行ってください。
- d 強い刺激を断続的に与えてください。

答え ab

- 対人関係、コミュニケーションの遅れや歯の汚れを指摘されたことから自閉スペクトラム症を疑う。感覚過敏のため、介助歯磨きを嫌がる傾向があり、これが日常の歯磨きがうまくできない理由と考えられる。そこで、写真で示す脱感作療法における顔面の脱感作を行っている。介助者の手で、手指、腕、肩、首、顔面、口腔周囲、口腔内といった順序で触っていく。手指から顔面までは手のひらで圧迫し、口腔周囲、口腔内は指で圧迫する。
- a、○ b 脱感作療法は毎日実施し、徐々に慣れさせていくことが重要である。
 - × c 顔面の脱感作は歯磨きの前に行うと有効である。
 - × d 脱感作療法では、弱い刺激を持続的に与える必要がある。

【問題 110】 88歳の男性。食事の少しあとにむせることを主訴として、家族から歯科訪問診療の依頼があった。診察の結果、下咽頭に食物が残留することによる嚥下後の誤嚥が指摘された。歯科医師から、口腔機能訓練を行うよう指示された。

指導するのはどれか。1つ選べ。

- a ガムラビング
- b シャキア訓練
- c ブローイング訓練
- d 頬の膨らまし訓練

答え b

- × a ガムラビング(歯肉マッサージ)は嚥下促進訓練の1つで、歯肉マッサージにより唾液分泌を促す。
- b シャキア訓練(頭部挙上訓練)は舌骨上筋群などの喉頭挙上に関わる筋の強化を行い、食道入口部の開大を目的としている。下咽頭部の食物残留による誤嚥の防止に有効である。
- × c ブローイング訓練は鼻咽腔閉鎖に関わる神経や筋群の機能を改善させる訓練で、鼻咽腔閉鎖機能の改善を目的としている。
- × d 頬の膨らまし訓練は口唇や頬の筋群の機能を改善させる訓練で、口唇や頬の動きを改善させることを目的としている。